



DataScientist Society

学生向けアンケート 〈データサイエンティストについて〉

2024年4月3日

一般社団法人 データサイエンティスト協会

調査・研究委員会

学生向けアンケート (データサイエンティストについてのアンケート)

調査対象 : 日本国内（全国）の大学生・大学院生
・ 男性：300サンプル、女性：300サンプルで割当
・ 学年、所属学部などでは割当せず

調査手法 : インターネット調査
・ 上記条件によるスクーリング後に本調査を実施

調査期間 : 2023年12月1日～12月3日

有効回答数 : 計600名

注 : 本調査資料の百分率表示は小数点以下を四捨五入しているため、合計しても100%とならない場合がございます。

- 本アンケートでは、次の5つの職種についてそれぞれ認知度や興味度合い、またイメージや就職意向をヒアリング

- データサイエンティスト (DS)

- システムエンジニア (SE)

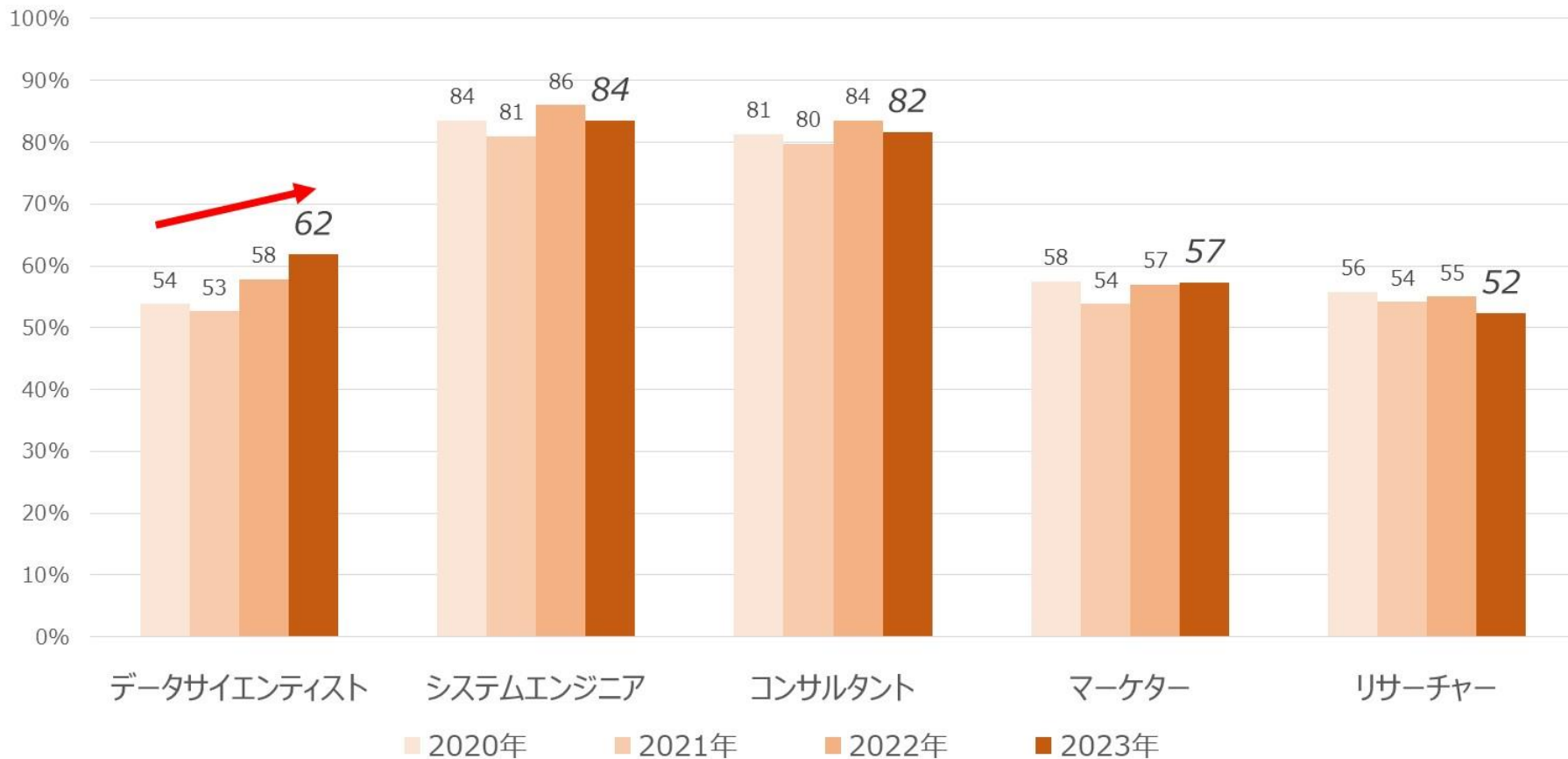
- コンサルタント

- リサーチャー

- マーケター

Q.あなたは、以下の職種を知っていますか。

データサイエンティストの認知度は上昇傾向が続く



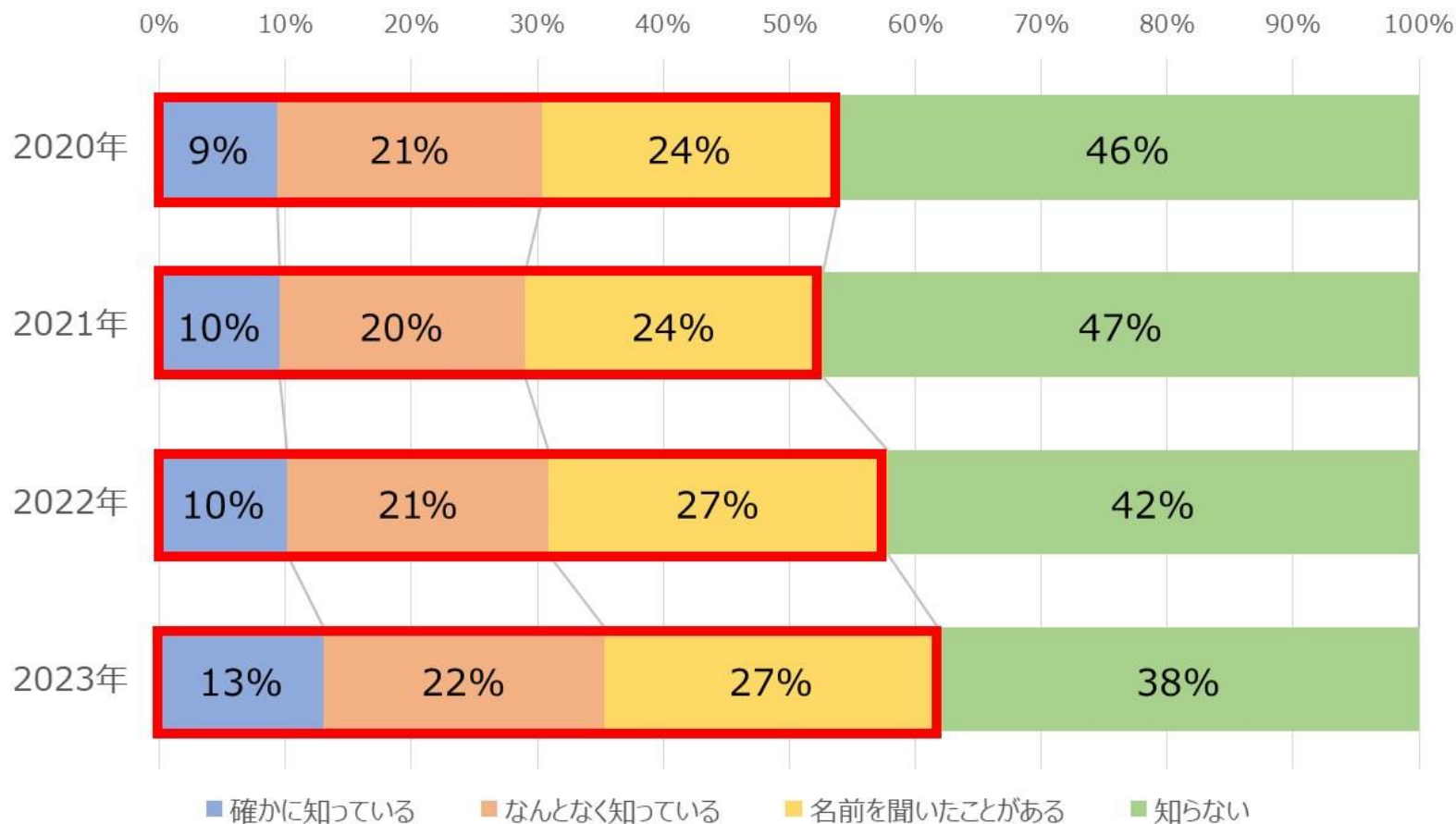
知っている = 確かに知っている、なんとなく知っている、名前を聞いたことがある

n=600

【調査年度】 データサイエンティスト認知度

Q.あなたは、職種「データサイエンティスト」を知っていますか。

「確かに知っている」が増加し全体の認知度が向上

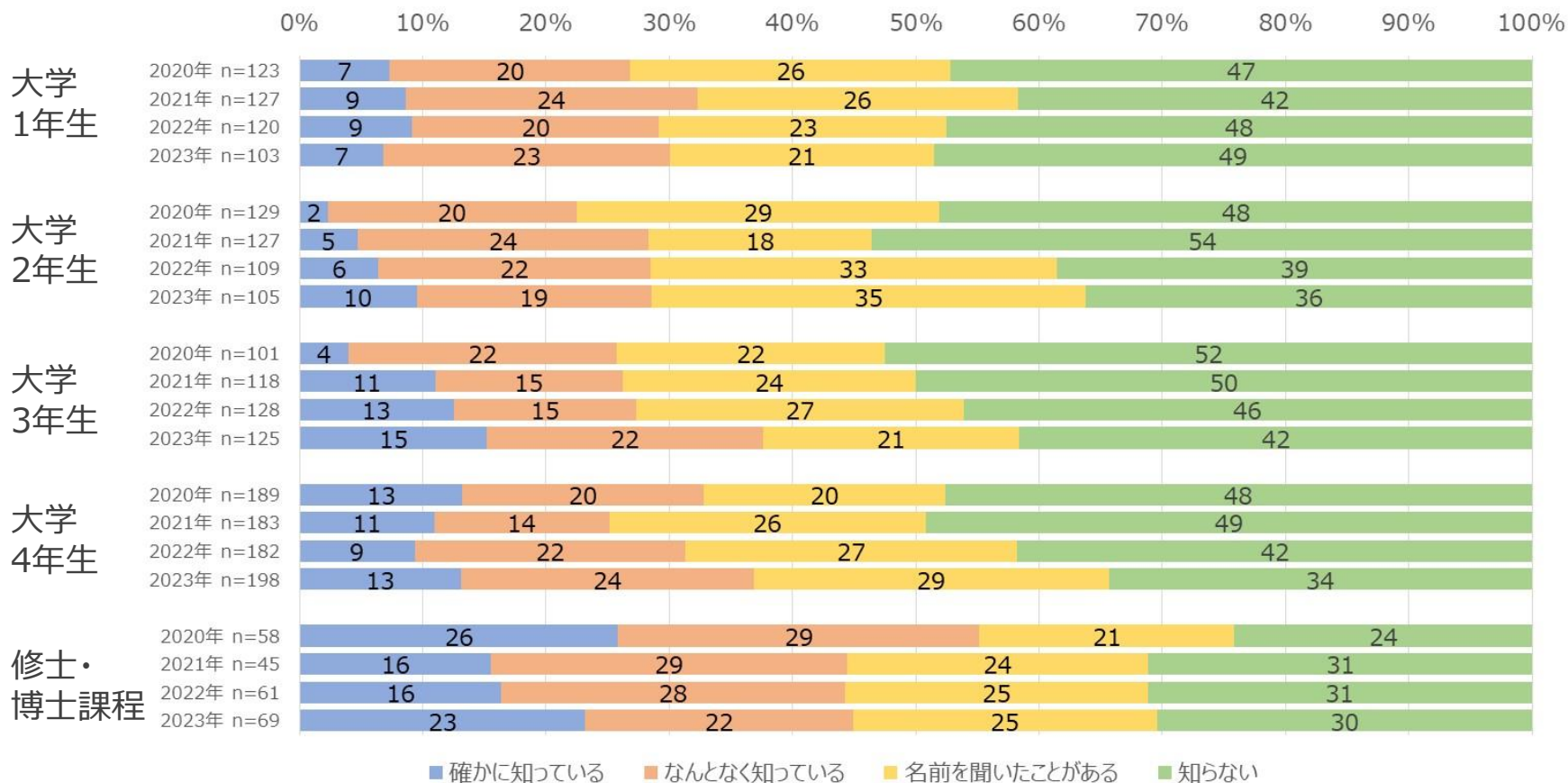


n=600

【学年】 データサイエンティスト認知度

Q.あなたは、職種「データサイエンティスト」を知っていますか。

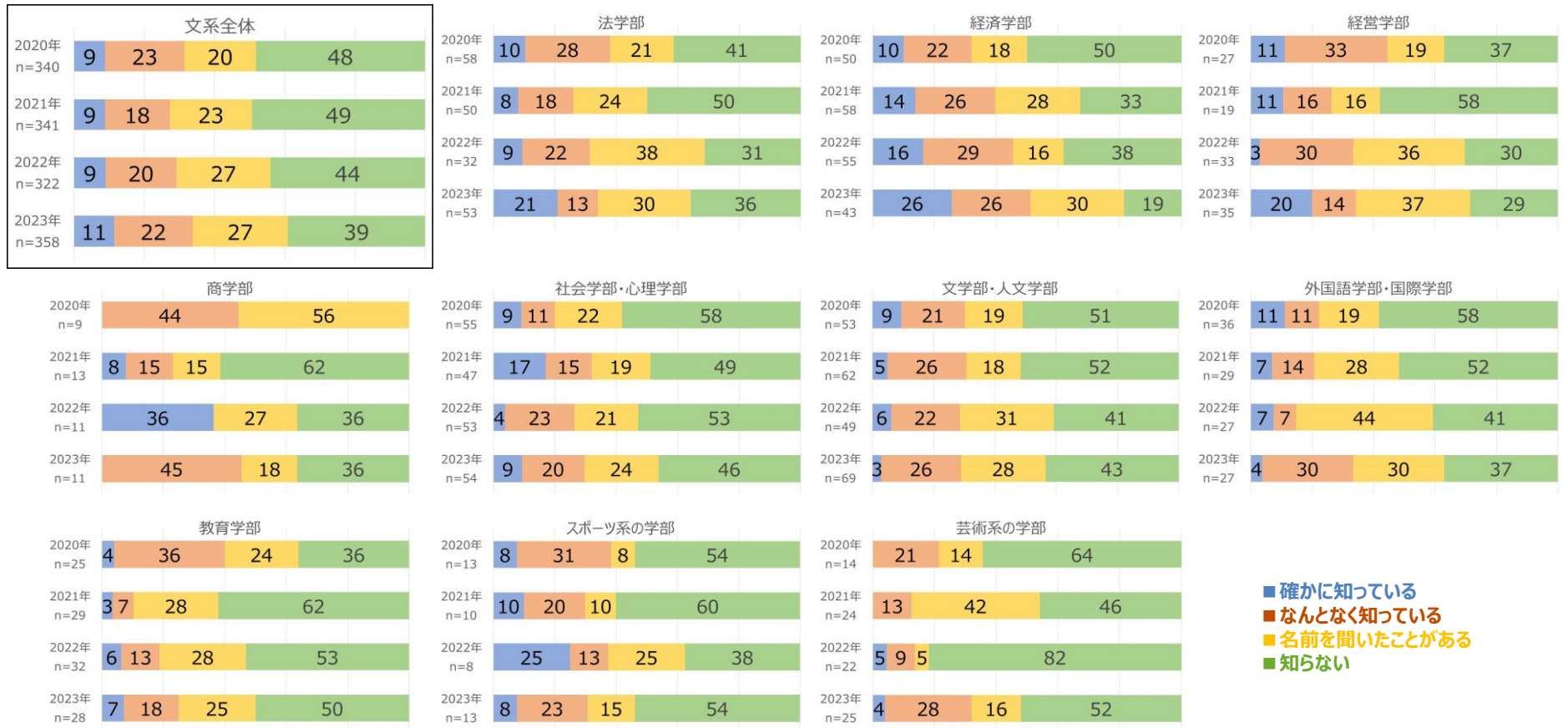
大学2年生以降で認知率が向上 修士・博士課程の認知度は特に高い



【文系学部】 データサイエンティスト認知度

Q.あなたは、職種「データサイエンティスト」を知っていますか。

文系全体の認知度は向上 経済学部の認知度は特に高い

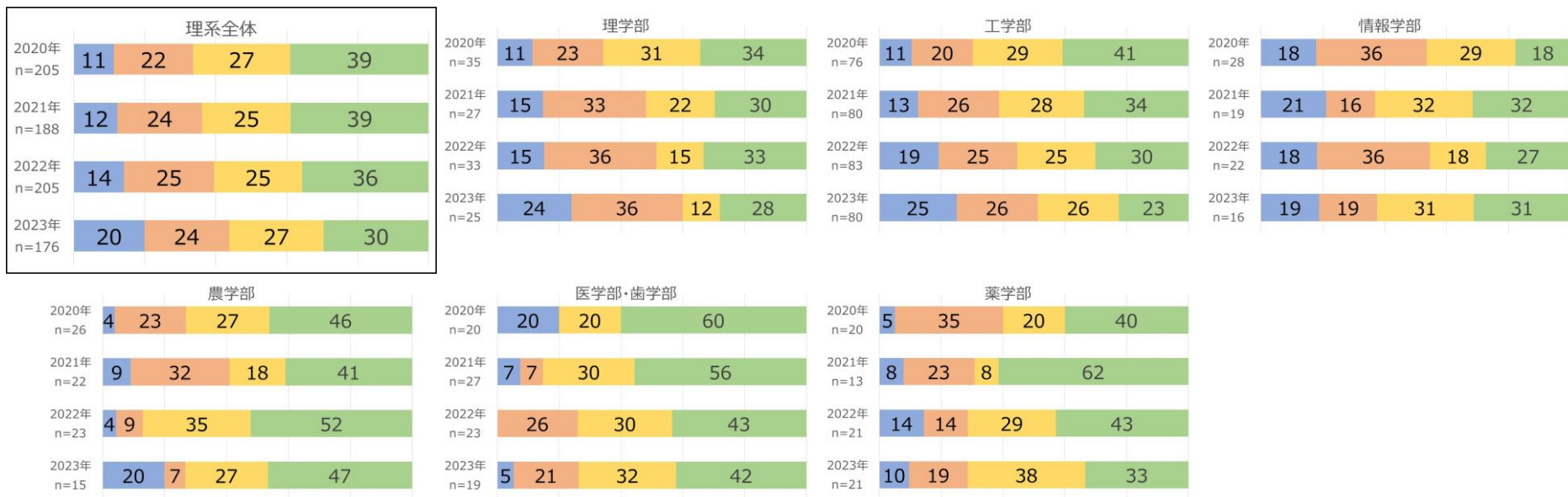


- 確かに知っている
- なんとなく知っている
- 名前を聞いたことがある
- 知らない

【理系学部】 データサイエンティスト認知度

Q.あなたは、職種「データサイエンティスト」を知っていますか。

理系全体も認知度は向上 工学部は年々認知度が向上し、最も認知度が高い

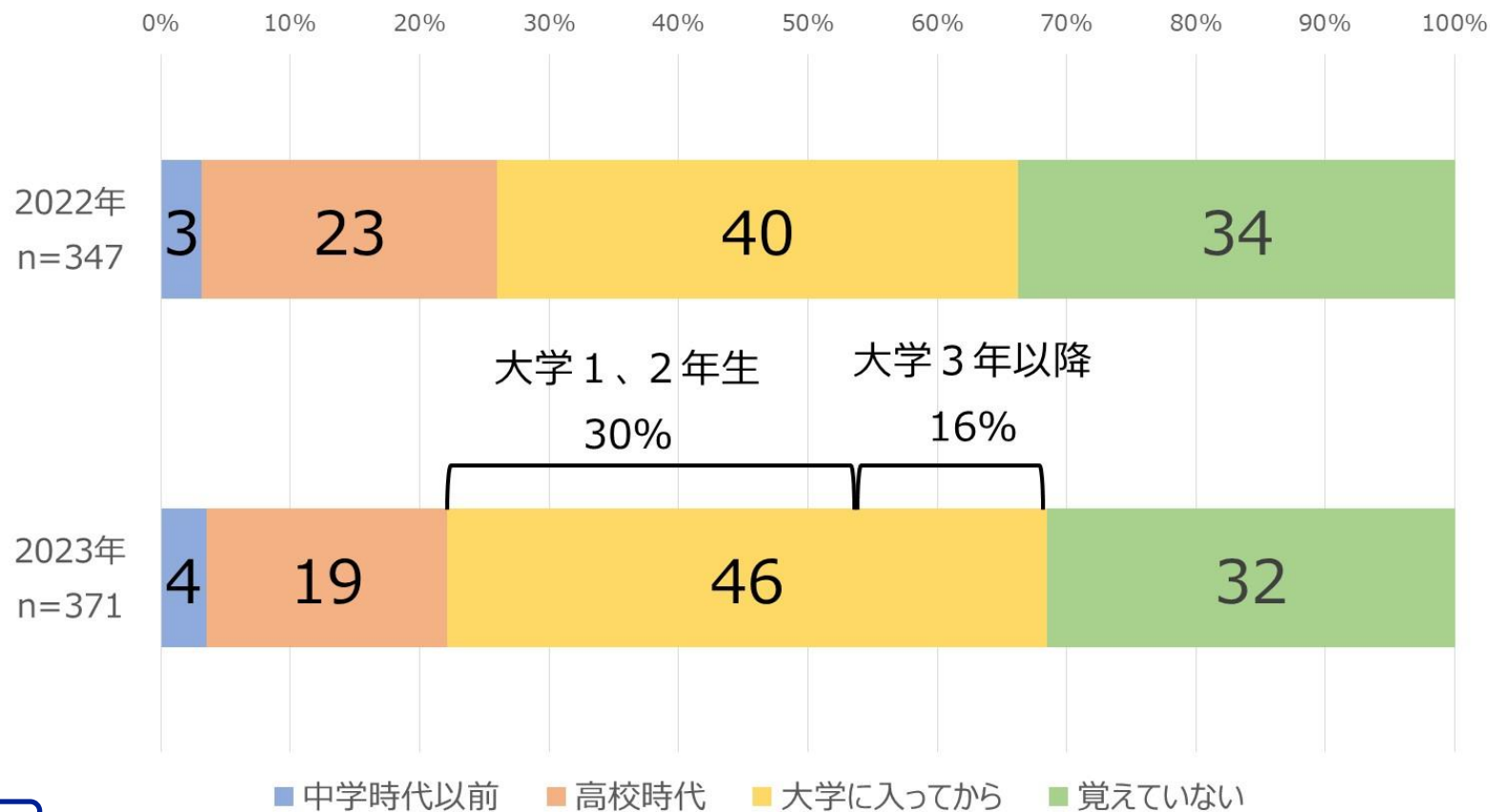


- 確かに知っている
- なんとなく知っている
- 名前を聞いたことがある
- 知らない

データサイエンティスト認知時期

Q.あなたがデータサイエンティストを知ったのはいつ頃ですか。

大学入学以降に知る学生が多い



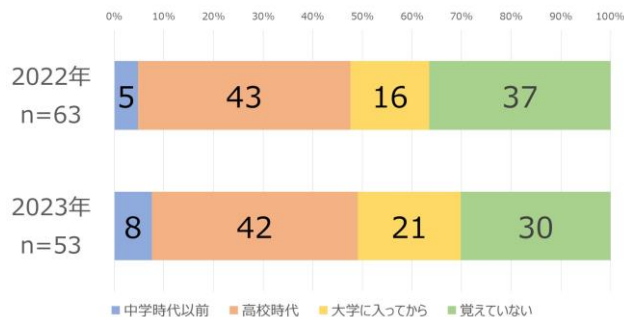
DS認知先

【学年】データサイエンティスト認知時期

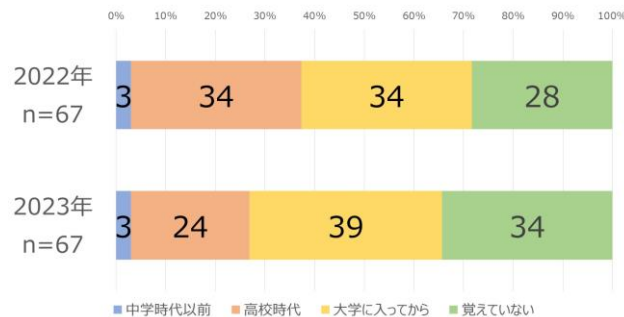
Q.あなたがデータサイエンティストを知ったのはいつ頃ですか。

大学1・2年生は大学入学前に知っている学生も多い

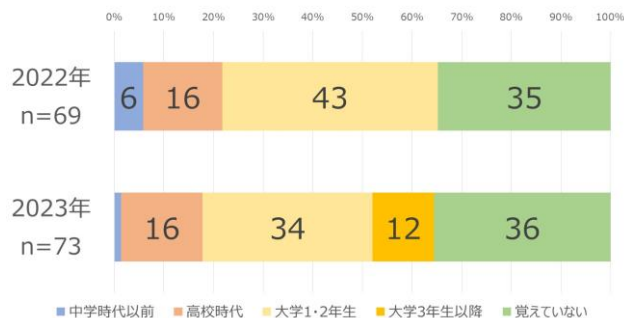
大学1年生



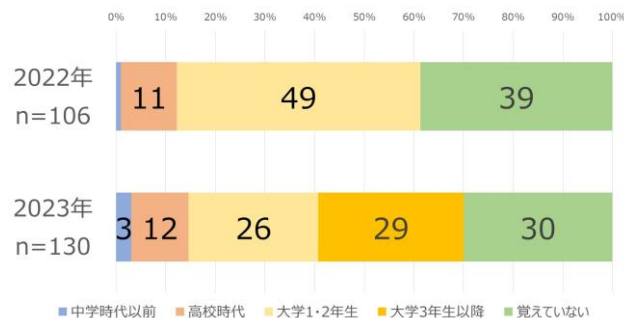
大学2年生



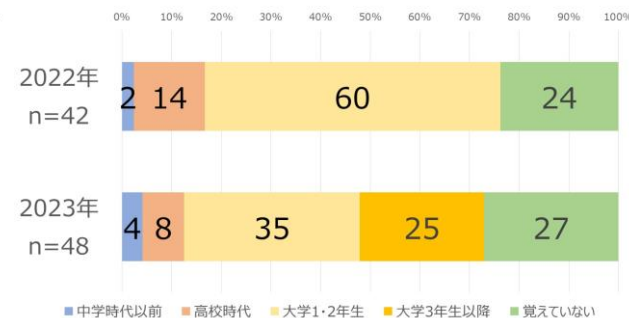
大学3年生



大学4年生



修士・博士課程

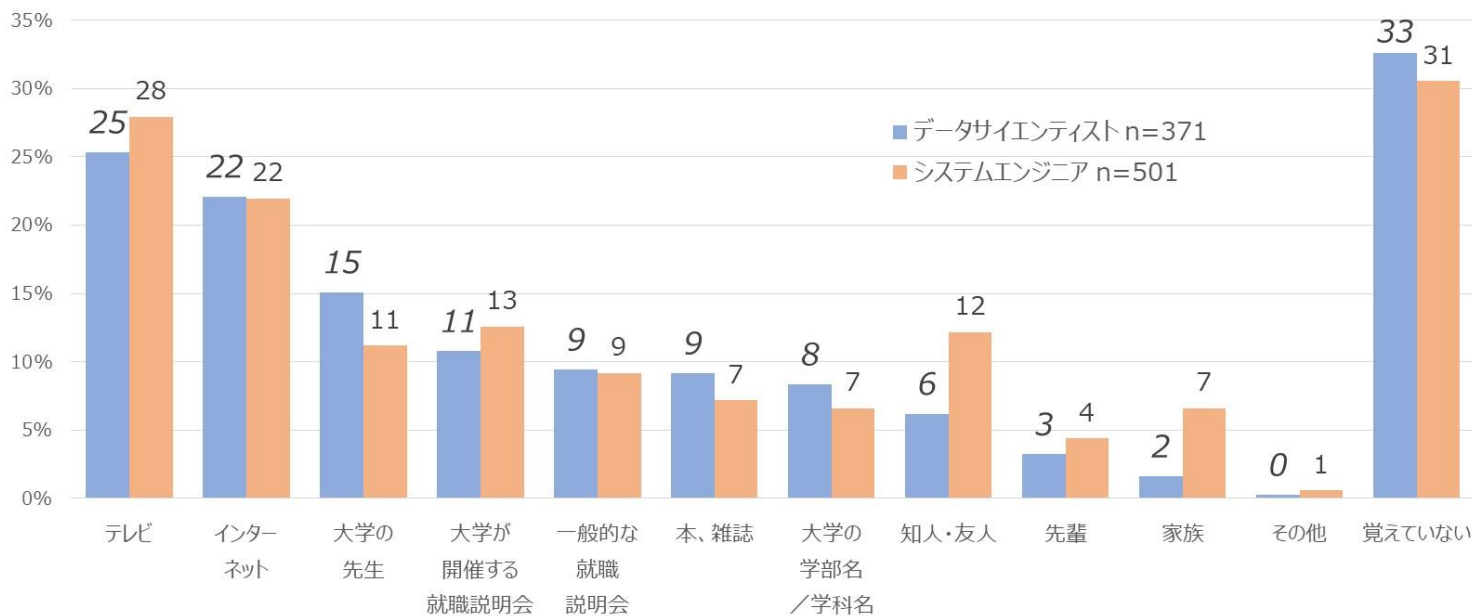


DS認知先

データサイエンティスト/システムエンジニア認知経路

Q.あなたがその職種を知ったきっかけは何ですか。(MA)

DSは「テレビ」「ネット」に次いで「先生」が多い 中学時代以前に知った学生は「テレビ」が特に多い



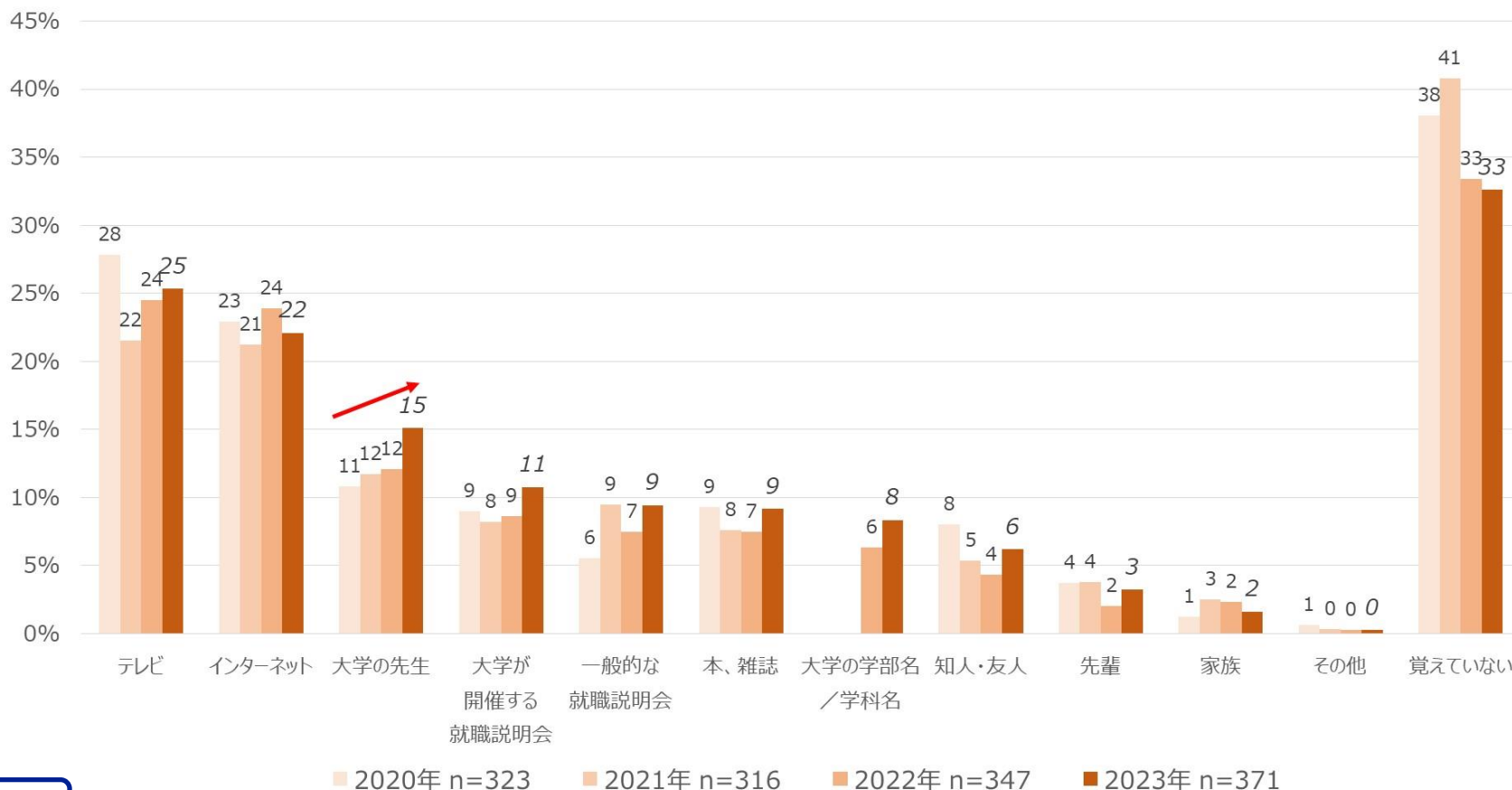
	回答数	テレビ	インターネット	大学の先生	大学が開催する就職説明会	一般的な就職説明会	本、雑誌	大学の学部名/学科名	知人・友人	先輩	家族	その他	覚えていない
DS認知全体	371	25.3%	22.1%	15.1%	10.8%	9.4%	9.2%	8.4%	6.2%	3.2%	1.6%	0.3%	32.6%
中学時代以前	13	53.8%	23.1%	7.7%	7.7%	0.0%	15.4%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	7.7%	30.8%
高校時代	69	40.6%	30.4%	13.0%	5.8%	7.2%	11.6%	8.7%	13.0%	7.2%	4.3%	0.0%	18.8%
大学1・2年生	113	21.2%	23.9%	31.0%	20.4%	11.5%	12.4%	14.2%	10.6%	4.4%	2.7%	0.0%	7.1%
大学3年以降	59	32.2%	39.0%	18.6%	18.6%	28.8%	11.9%	11.9%	1.7%	1.7%	0.0%	0.0%	11.9%
覚えていない	117	13.7%	6.8%	0.0%	0.9%	0.0%	2.6%	1.7%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	76.1%

認知先

【調査年度】 データサイエンティスト認知経路

Q.あなたが職種「データサイエンティスト」を知ったきっかけは何ですか。(MA)

「大学の先生」「大学主催の説明会」「学部名」といった 大学関連からの認知が徐々に増加している



DS認知先

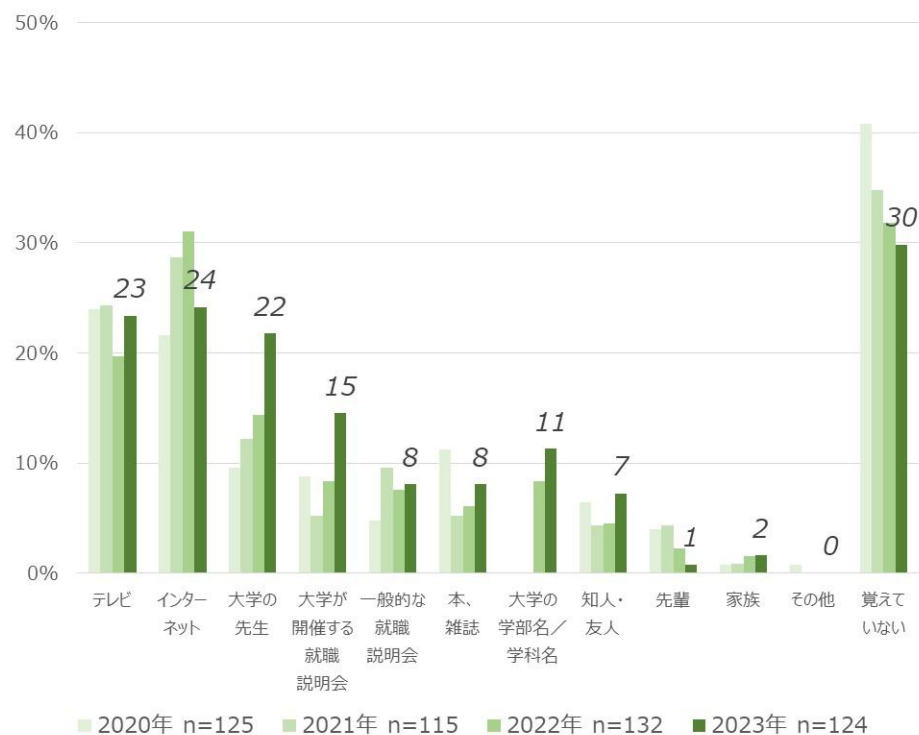
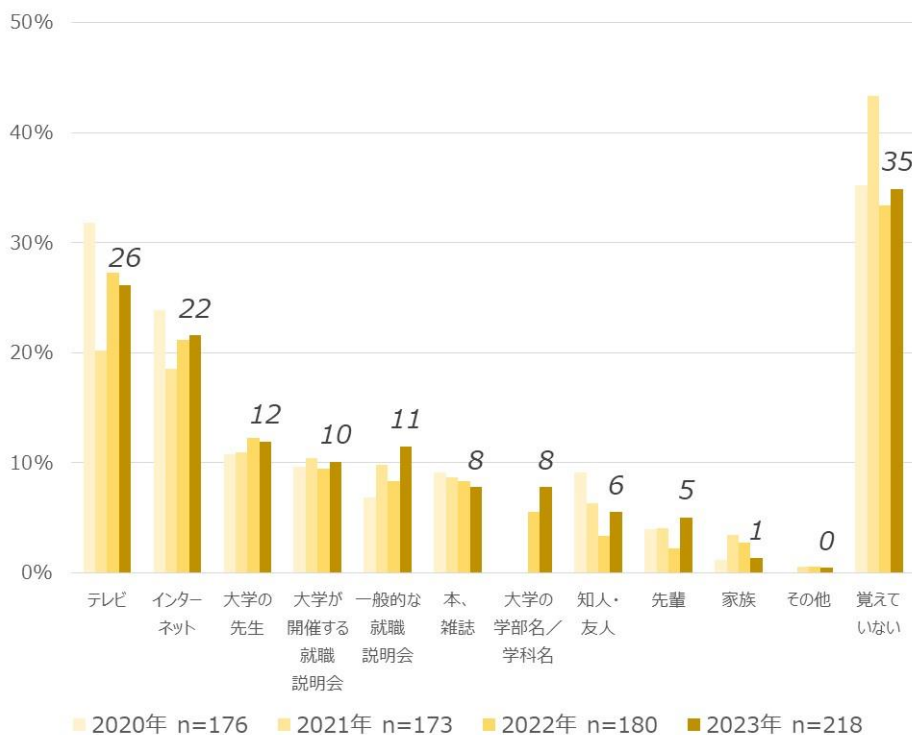
【文系理系】 データサイエンティスト認知経路

Q.あなたが職種「データサイエンティスト」を知ったきっかけは何ですか。(MA)

理系は「大学の先生」からの認知も高い

文系

理系

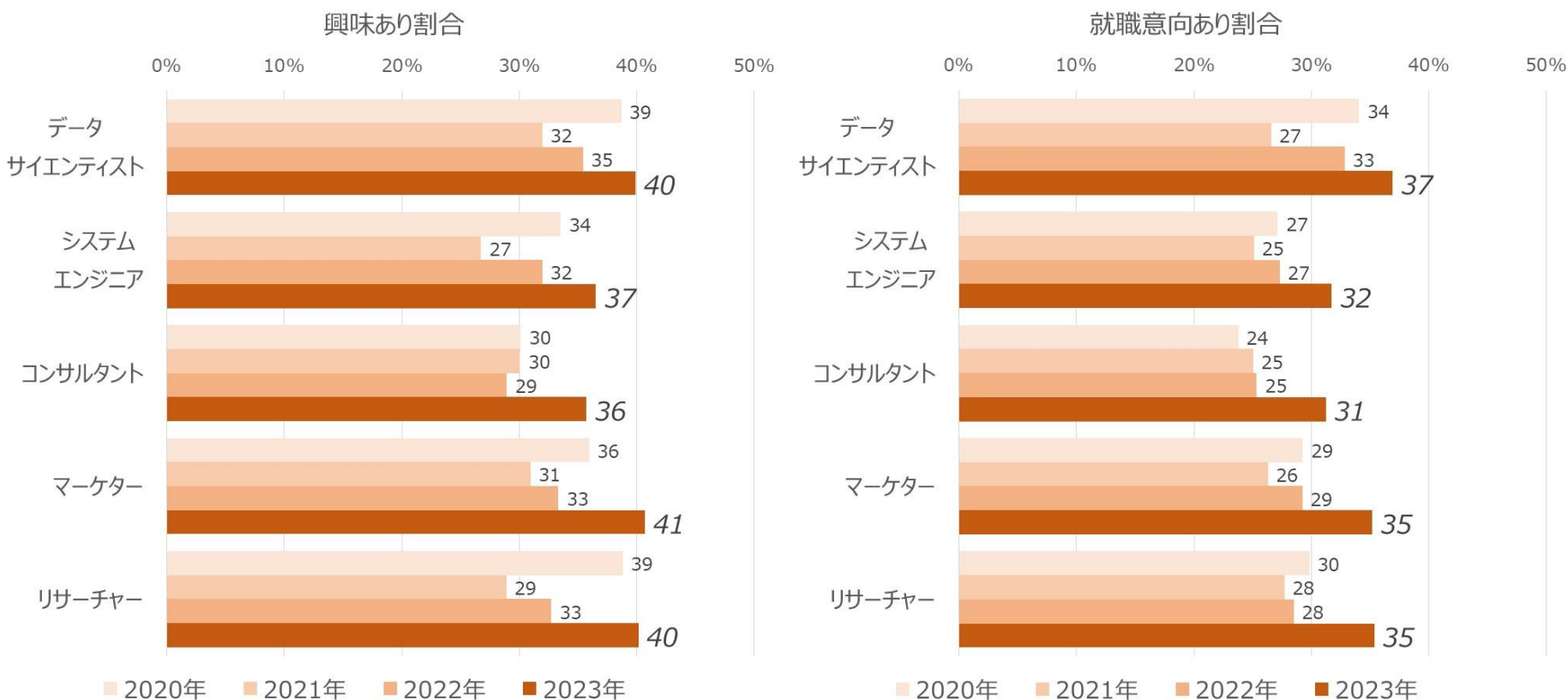


DS認知先

職種別興味度合い／就職意向

Q.あなたは、以下の職種に興味がありますか／就職をしてみたいと思いますか。

どの職種においても、 興味あり／就職意向ありの割合が増加

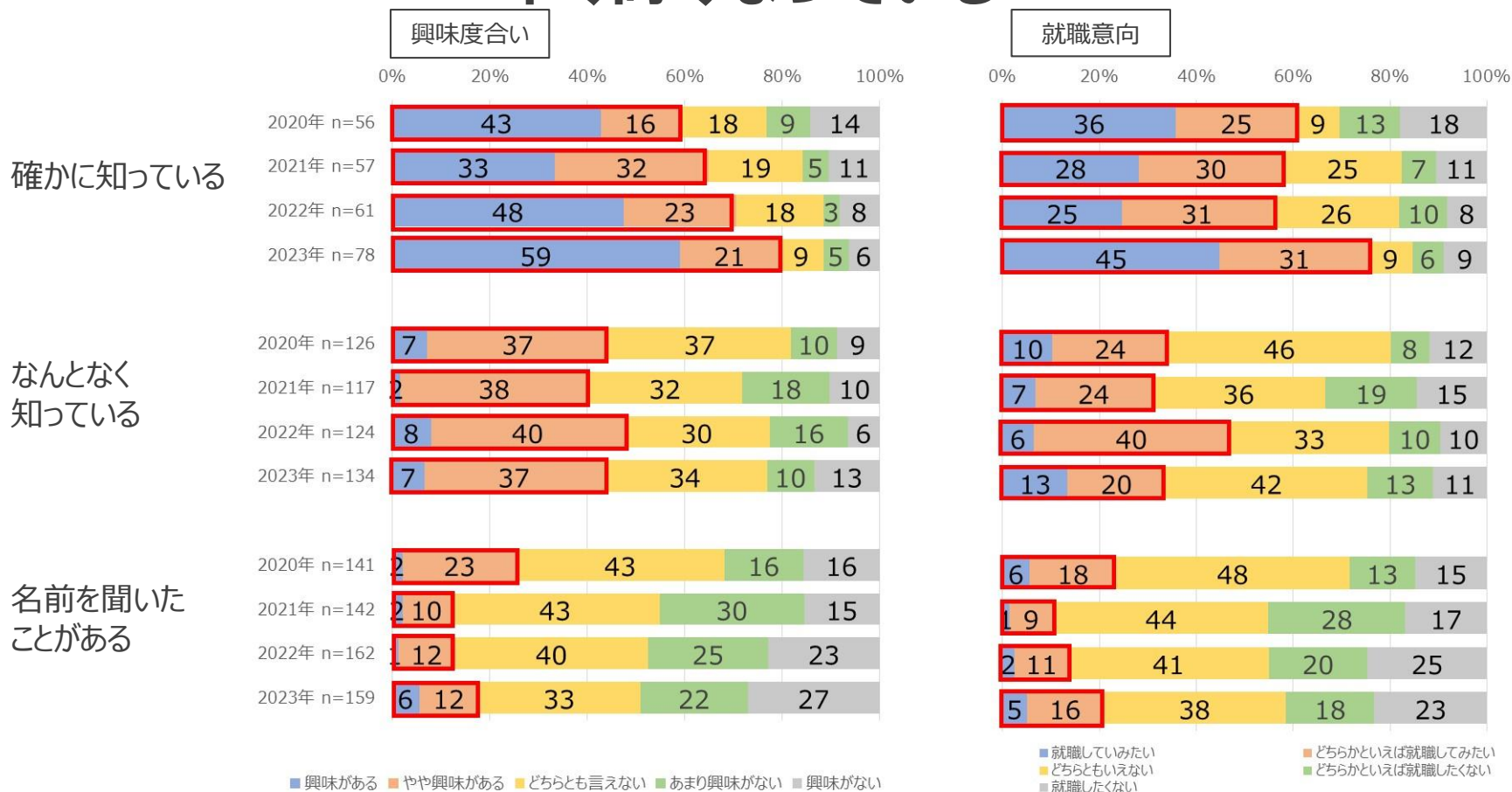


各職種で認知ある先が回答

【認知度合い】 データサイエンティスト興味度合い／就職意向

Q.あなたは、職種「データサイエンティスト」に興味がありますか／就職をしてみたいと思いますか。

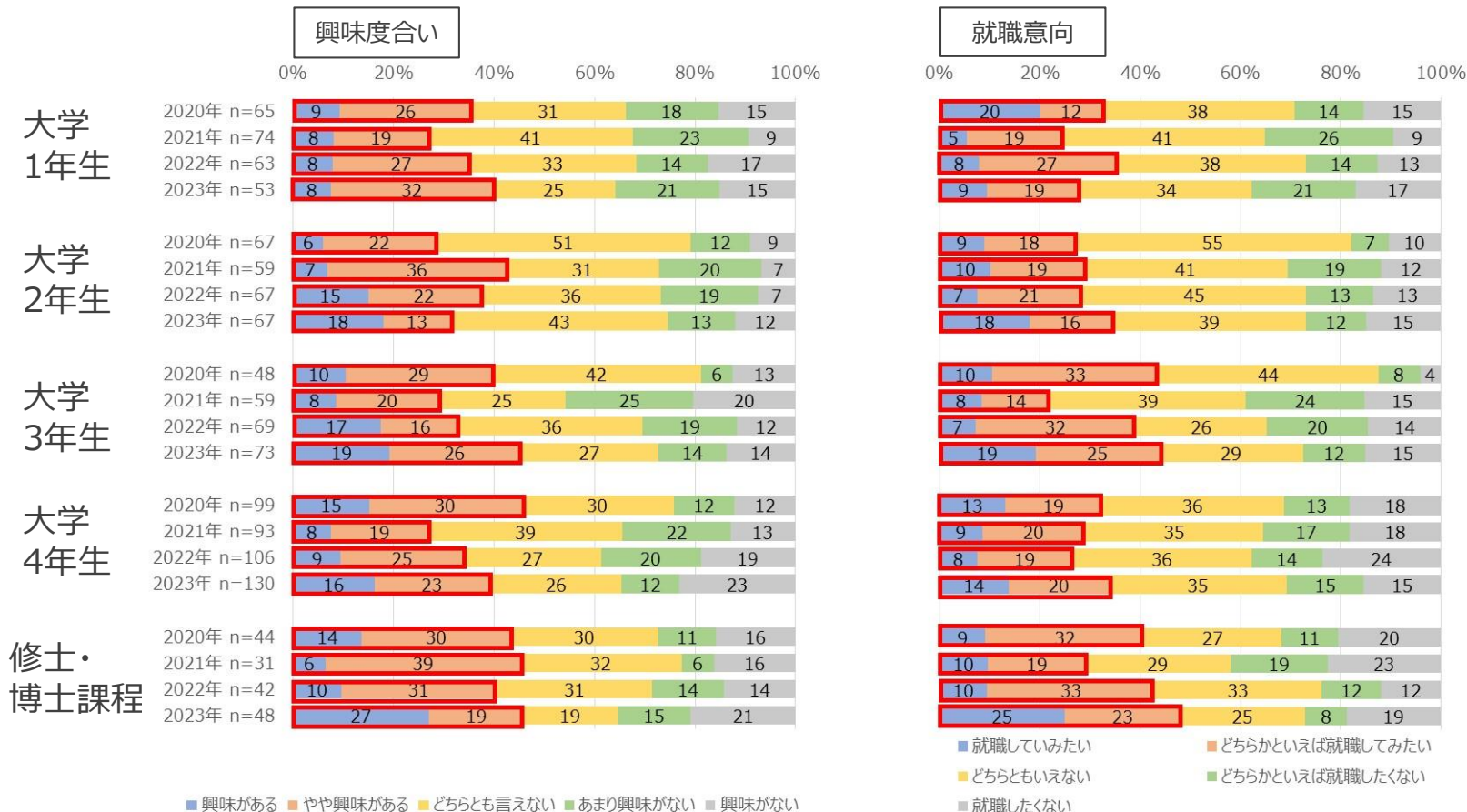
DSを確かに知っている学生の興味度合いは 年々高くなっている



【学年】 データサイエンティスト興味度合い／就職意向

Q.あなたは、職種「データサイエンティスト」に興味がありますか／就職をしてみたいと思いますか。

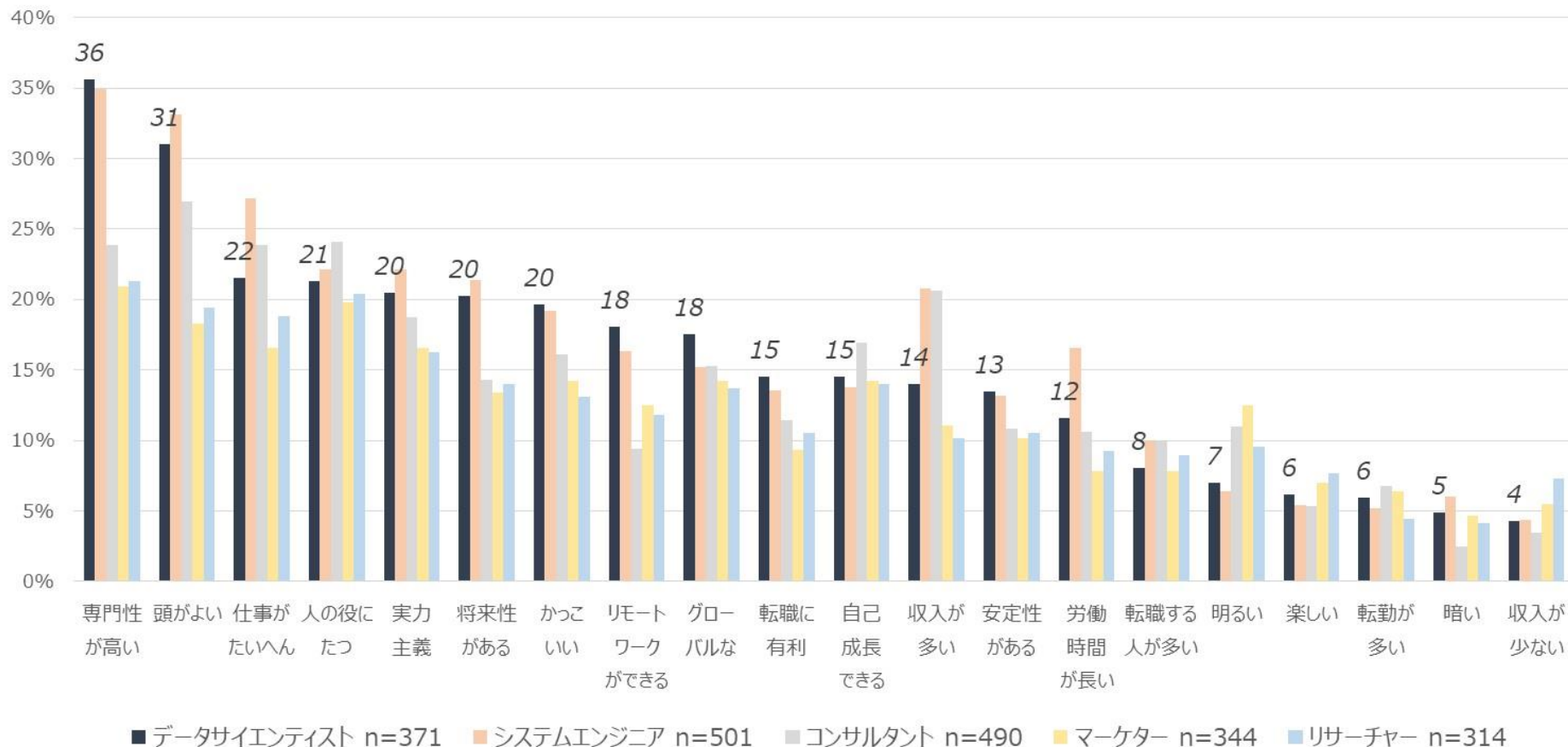
これから就活を控える大学3年生以下の 就職意向には大きな変化は起きていない



職種別のイメージ（認知先全体）

Q.あなたは、以下の職種に、どのようなイメージを持っていますか。（MA）

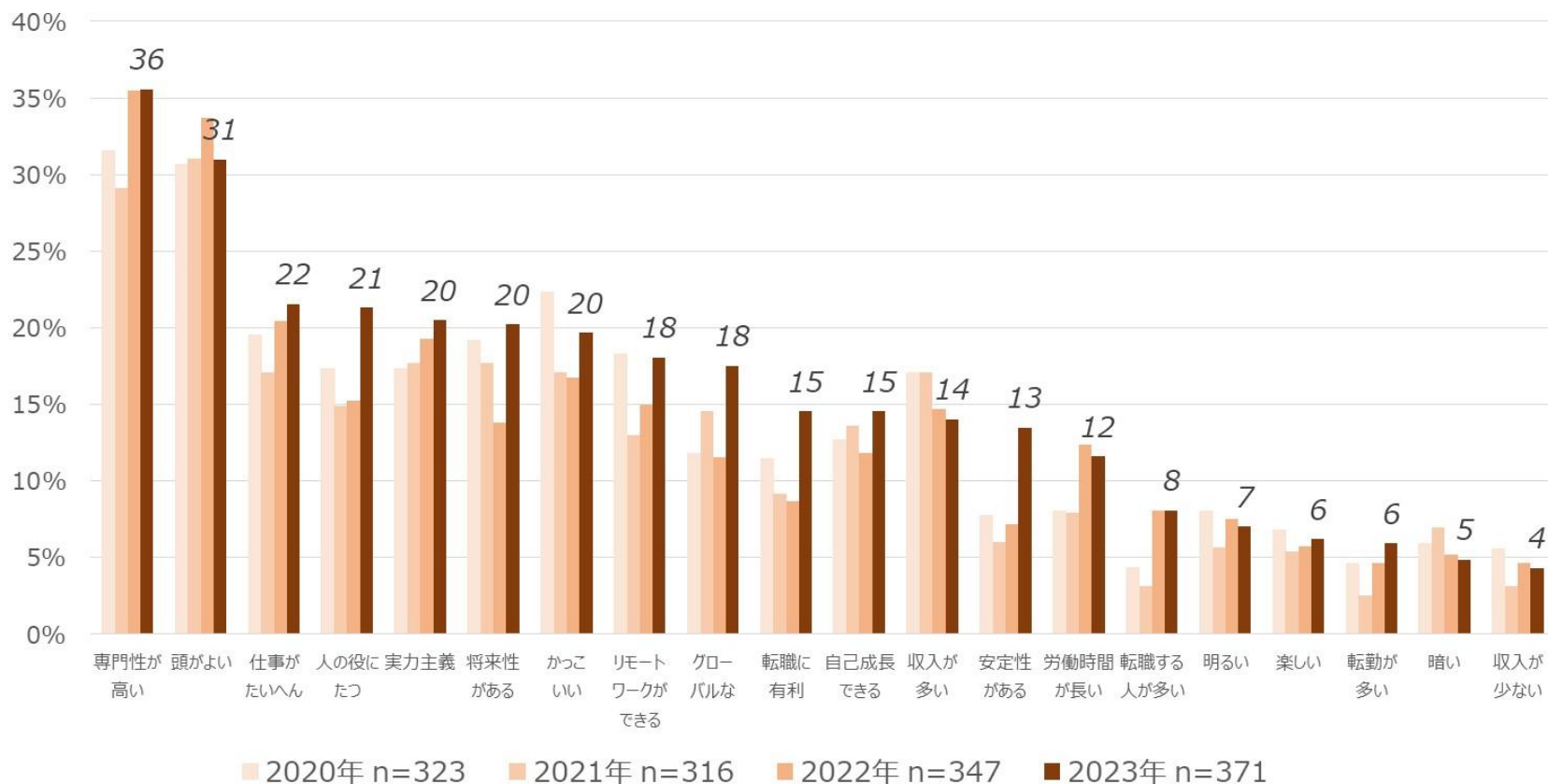
データサイエンティストのイメージ 「専門性が高い」「頭がよい」



【調査年度】 データサイエンティストのイメージ

Q.あなたは、職種「データサイエンティスト」にどのようなイメージを持っていますか。(MA)

「専門性が高い」「頭がよい」のイメージは依然として高い

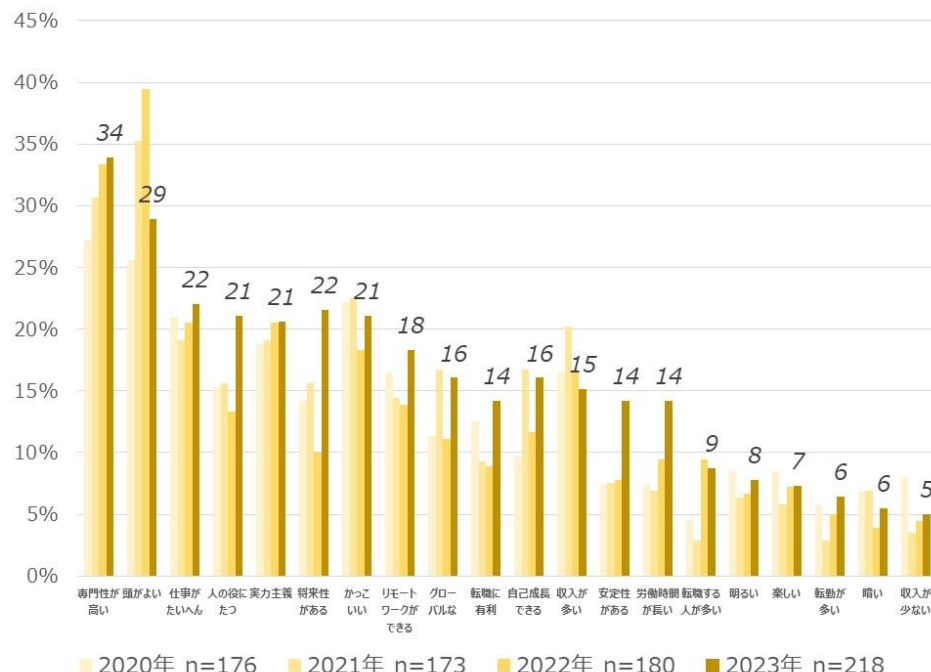


【文系理系】 データサイエンティストのイメージ

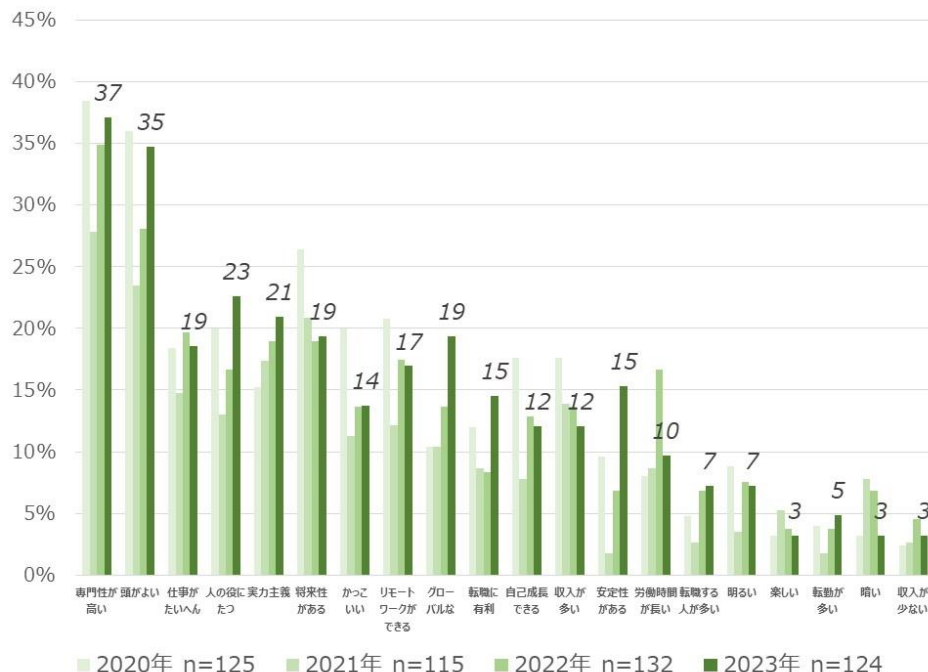
Q.あなたは、職種「データサイエンティスト」にどのようなイメージを持っていますか。(MA)

理系学生の方が 「専門性が高い」「頭がよい」のイメージが強い

文系



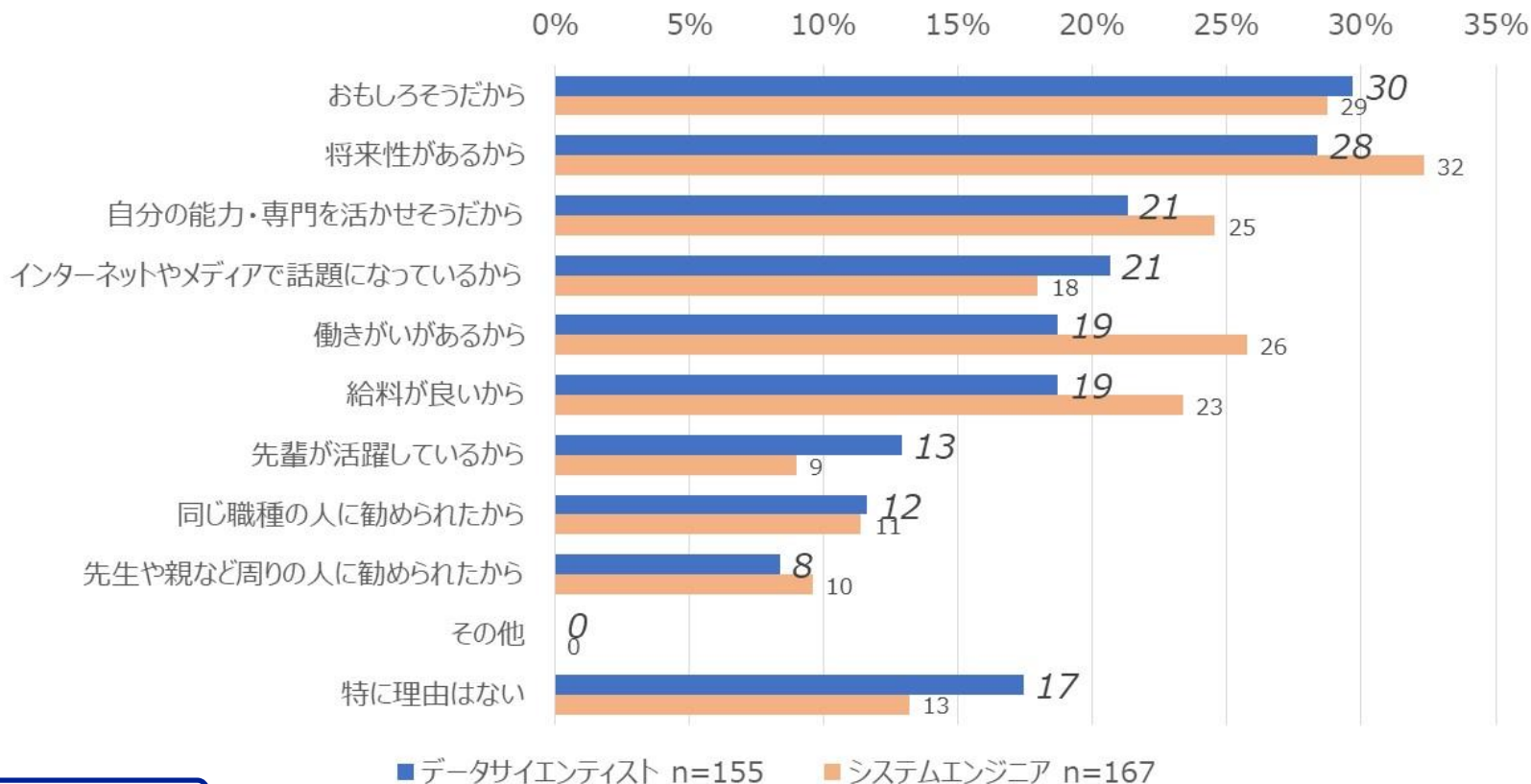
理系



データサイエンティスト/システムエンジニア就職理由

Q.データサイエンティスト/システムエンジニアに就職してみたいと思う理由はなんですか。(M A)

DS : 「おもしろそう」「将来性がある」が高い
SE : 「能力を活かせる」「働きがいがある」も高い

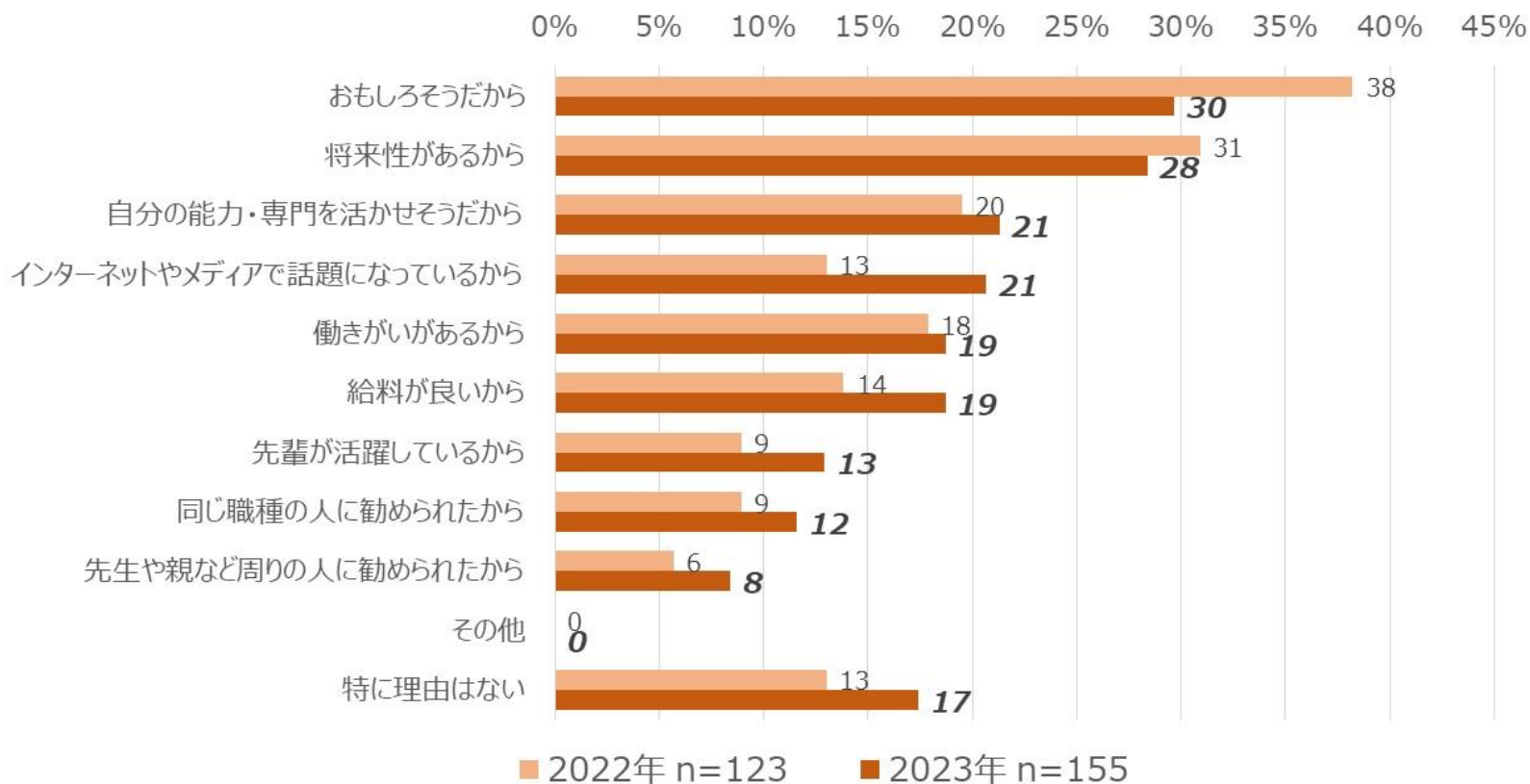


DS/SE就職意向あり先

【調査年度】 データサイエンティスト就職理由

Q.データサイエンティストに就職してみたいと思う理由はなんですか。（M A）

「おもしろそうだから」が8ポイント減に対し、 「ネットやメディアで話題」が8ポイント増

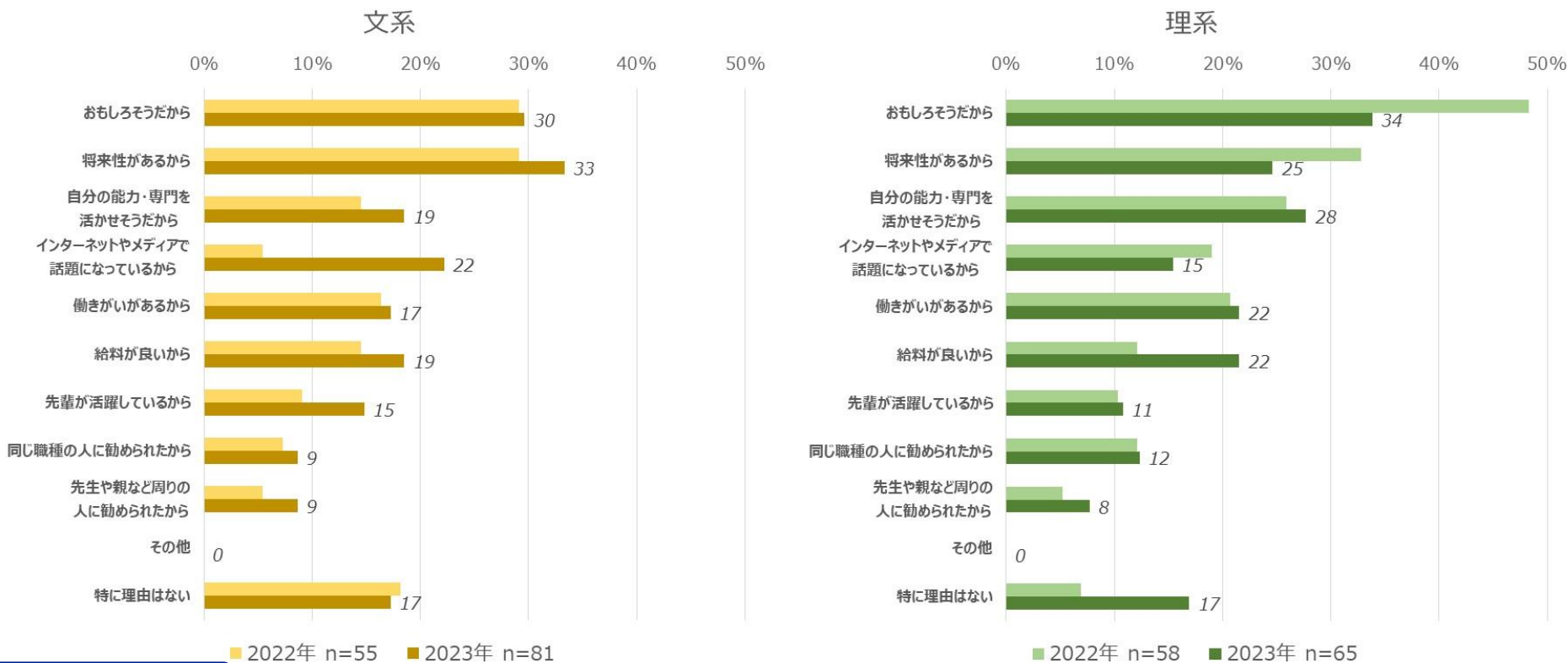


DS就職意向あり先

【文系理系】 データサイエンティスト就職理由

Q.データサイエンティストに就職してみたいと思う理由はなんですか。(M A)

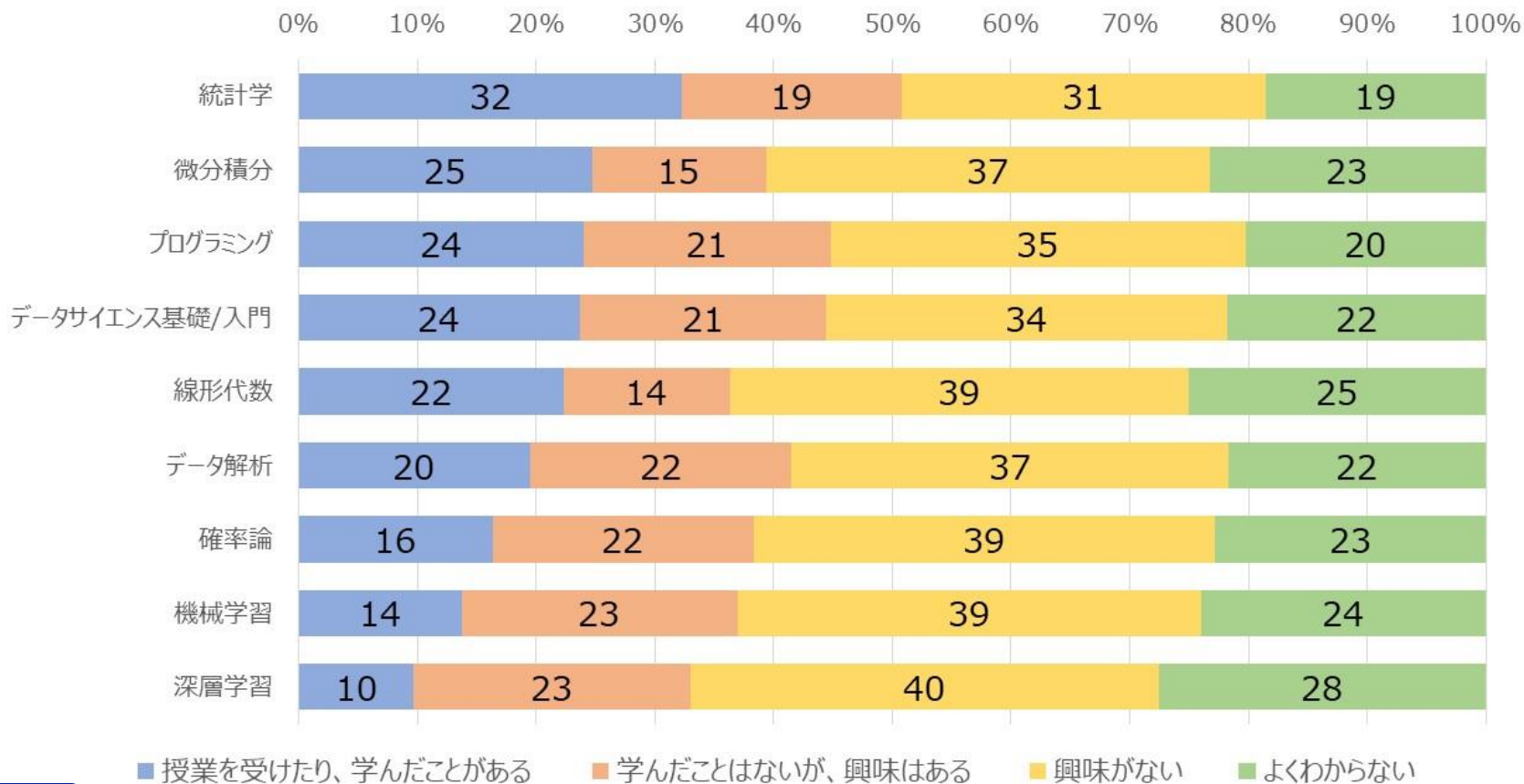
文系：「将来性」「ネットやメディアで話題」が高い
理系：「自分の能力が活かせる」が高い



DS就職意向あり先

Q.大学に入学以降、次の中で、あなたが授業を受けたり、自身で勉強したことがあるものはどれですか。(MA)

受講割合は科目により異なるが、 興味のある割合はいずれも20%程度



学生全体

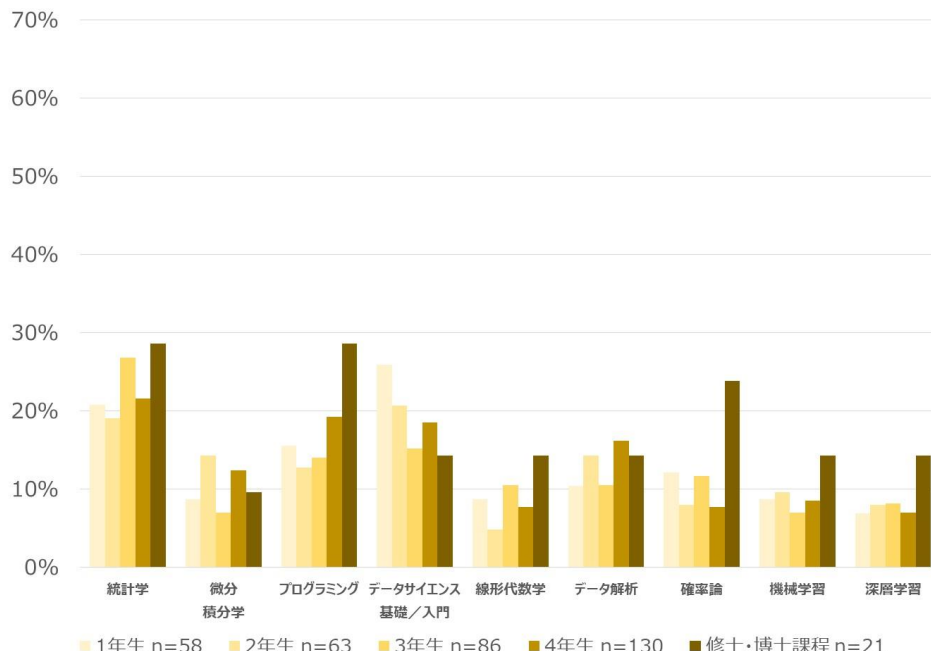
n=600

【文系理系・学年】数学・データサイエンス関連授業の受講状況

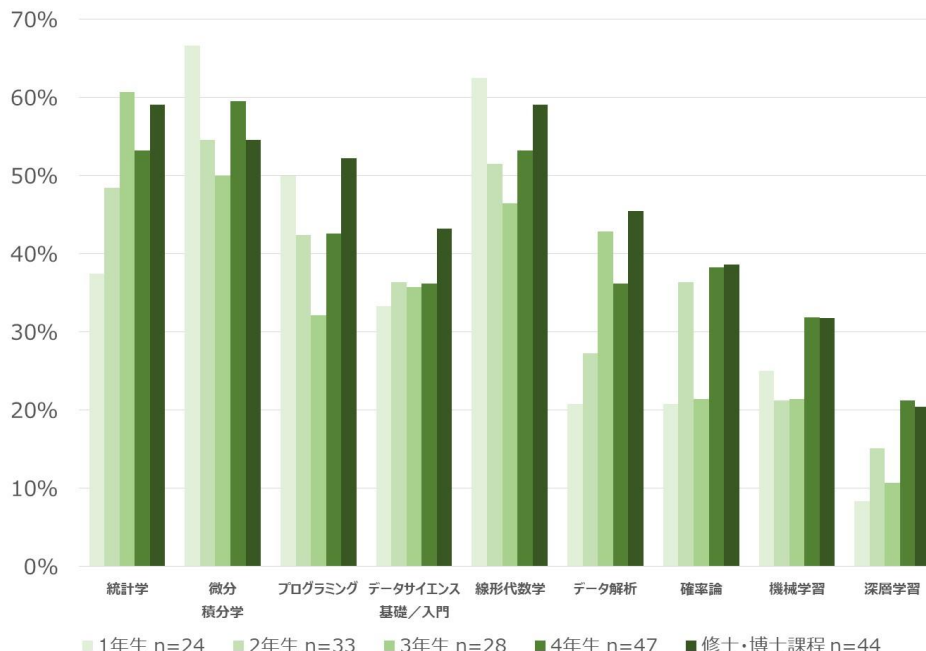
Q.大学に入学以降、次の中で、あなたが授業を受けたり、自身で勉強したことがあるものはどれですか。（MA）

文系・理系で受講割合に大きな差があるが、 学年（1～4年生、修士・博士課程）では差は見られない

文系



理系



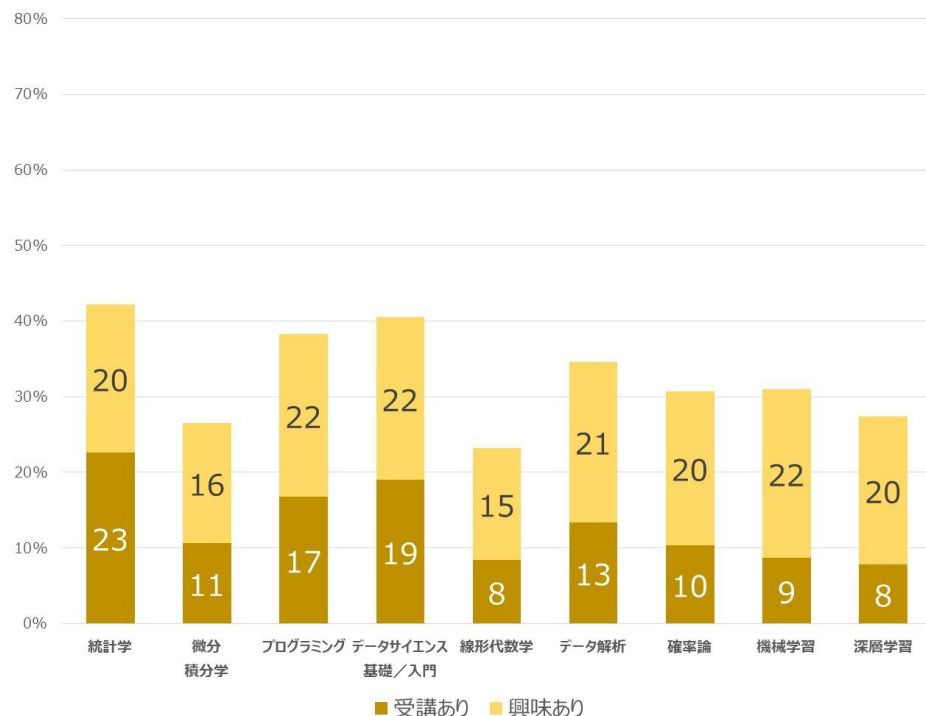
【文系理系】数学・データサイエンス関連授業の受講／興味状況

Q.大学に入学以降、次の中で、あなたが授業を受けたり、自身で勉強したことがあるものはどれですか。(MA)

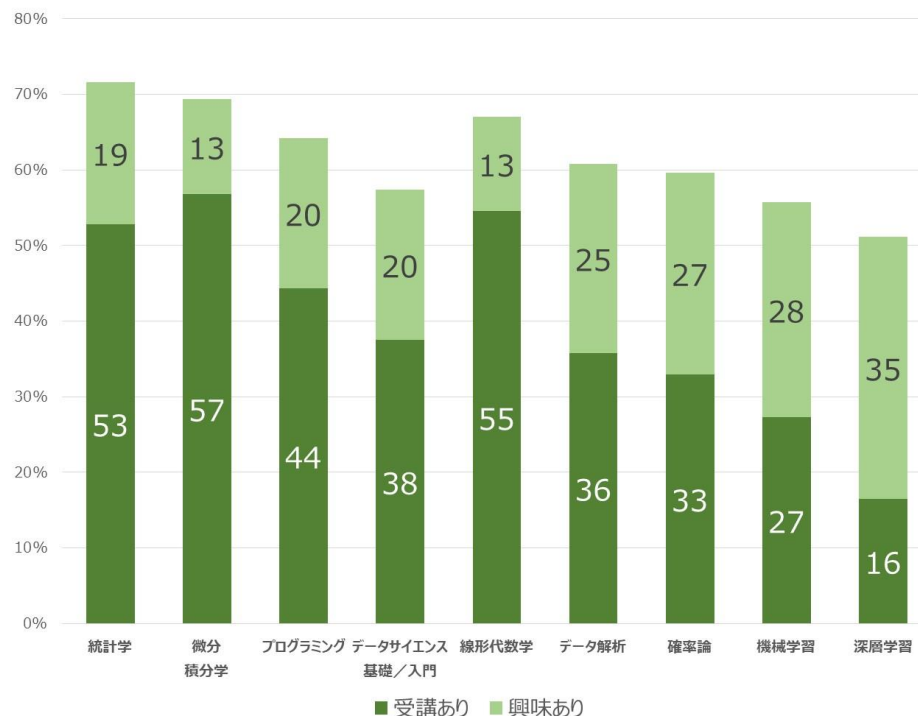
文系：DS関連科目の「受講＋興味」は30～40%

理系：どの科目も受講割合が高い

文系 n=358



理系 n=176



【文系理系】数学・データサイエンス関連授業の受講／興味状況

Q.大学に入学以降、次の中で、あなたが授業を受けたり、自身で勉強したことがあるものはどれですか。(MA)

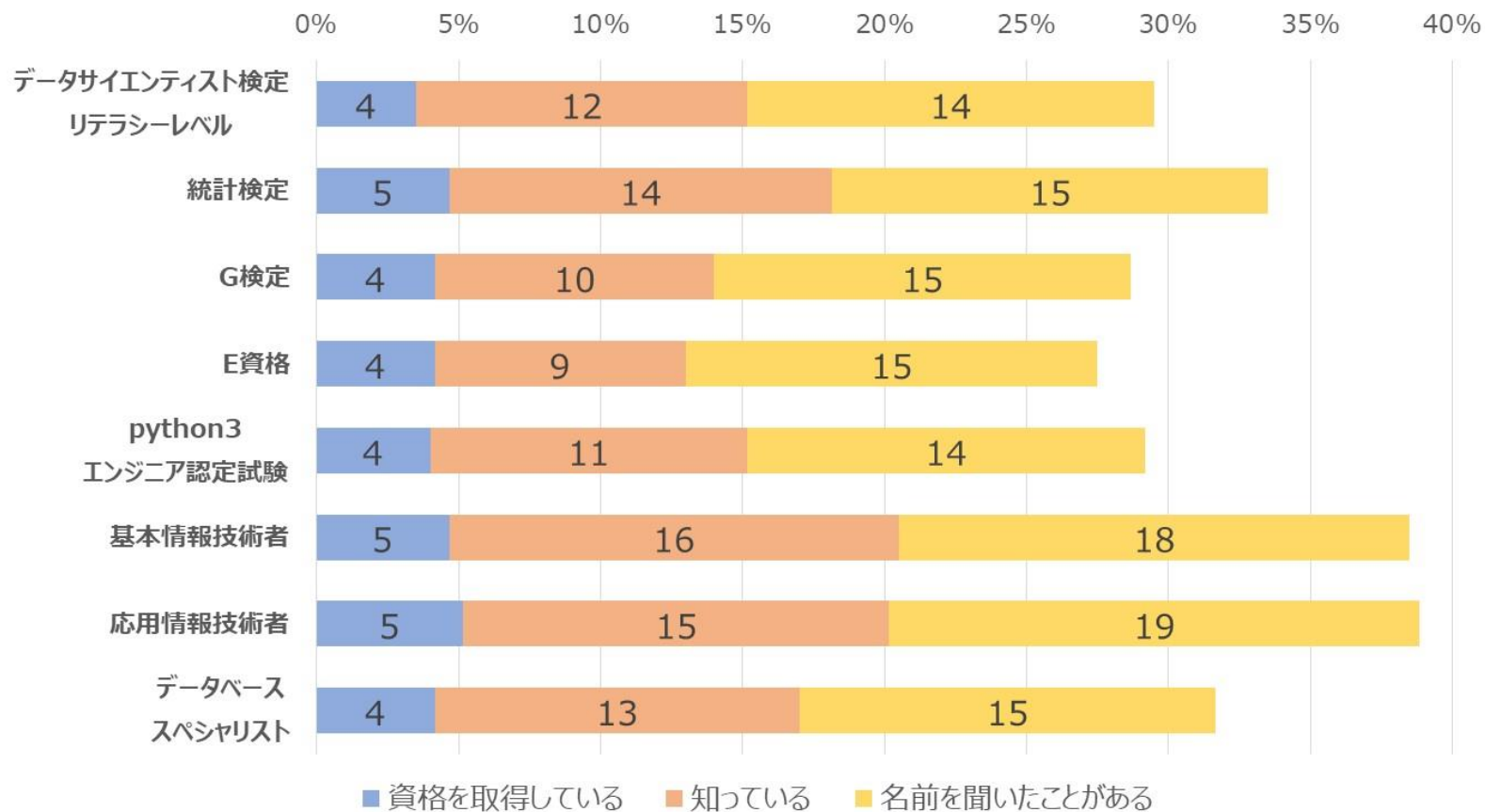
「経済学部」学生の受講割合は理系ほど高くないが、興味ありを含めると理系に匹敵する高さとなる



Q.あなたは、データサイエンスに関する以下の「資格」を知っていますか。また、取得しているものがありますか。

どの資格も取得率は5%程度

DS検定リテラシーレベルの認知度は30%弱



学生全体

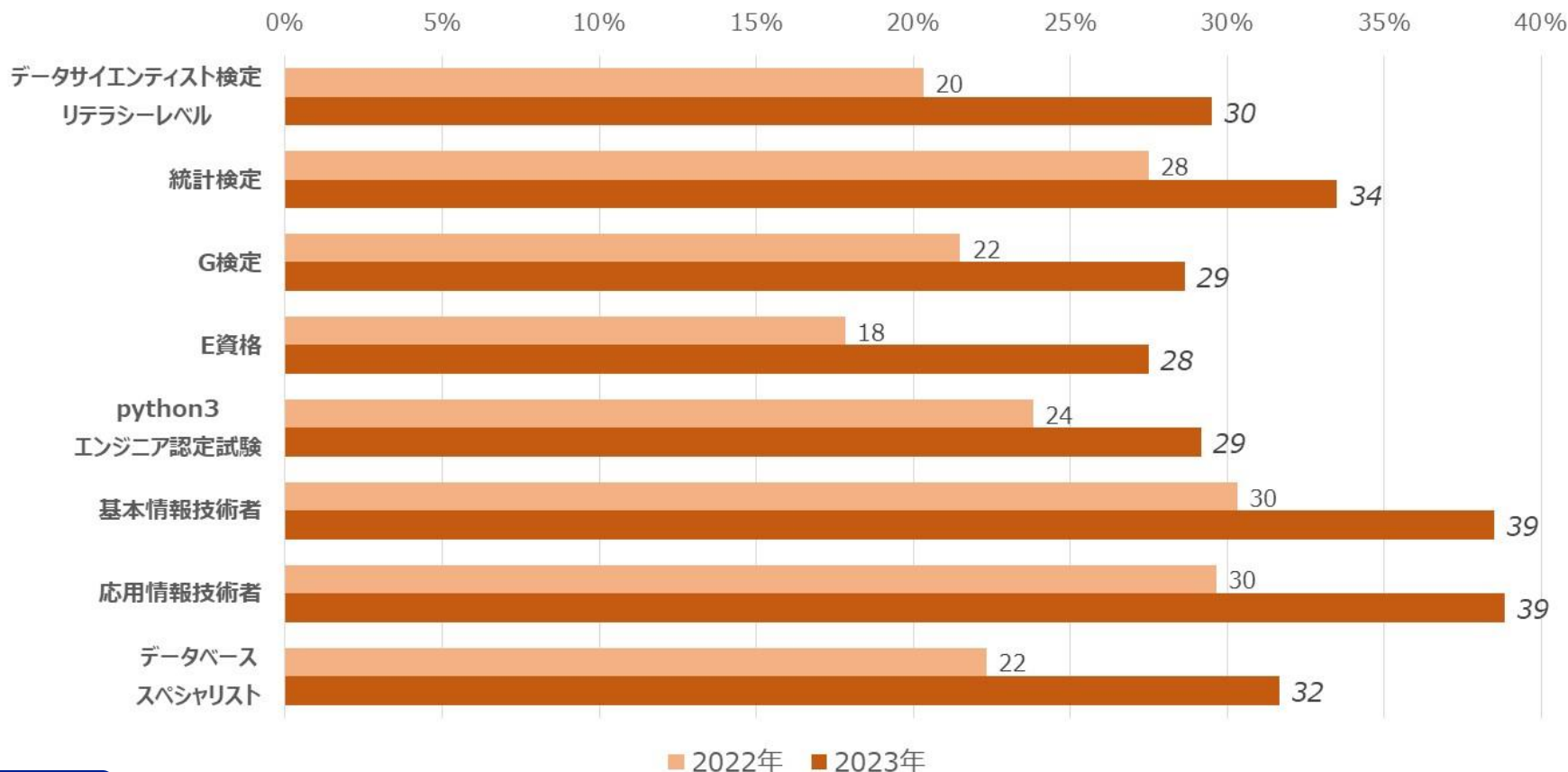
n=600

【調査年度】 資格取得／認知度

Q.あなたは、データサイエンスに関する以下の「資格」を知っていますか。また、取得しているものがありますか。

どの資格も認知度が向上

認知全体（資格を取得している+知っている+名前を聞いたことがある）



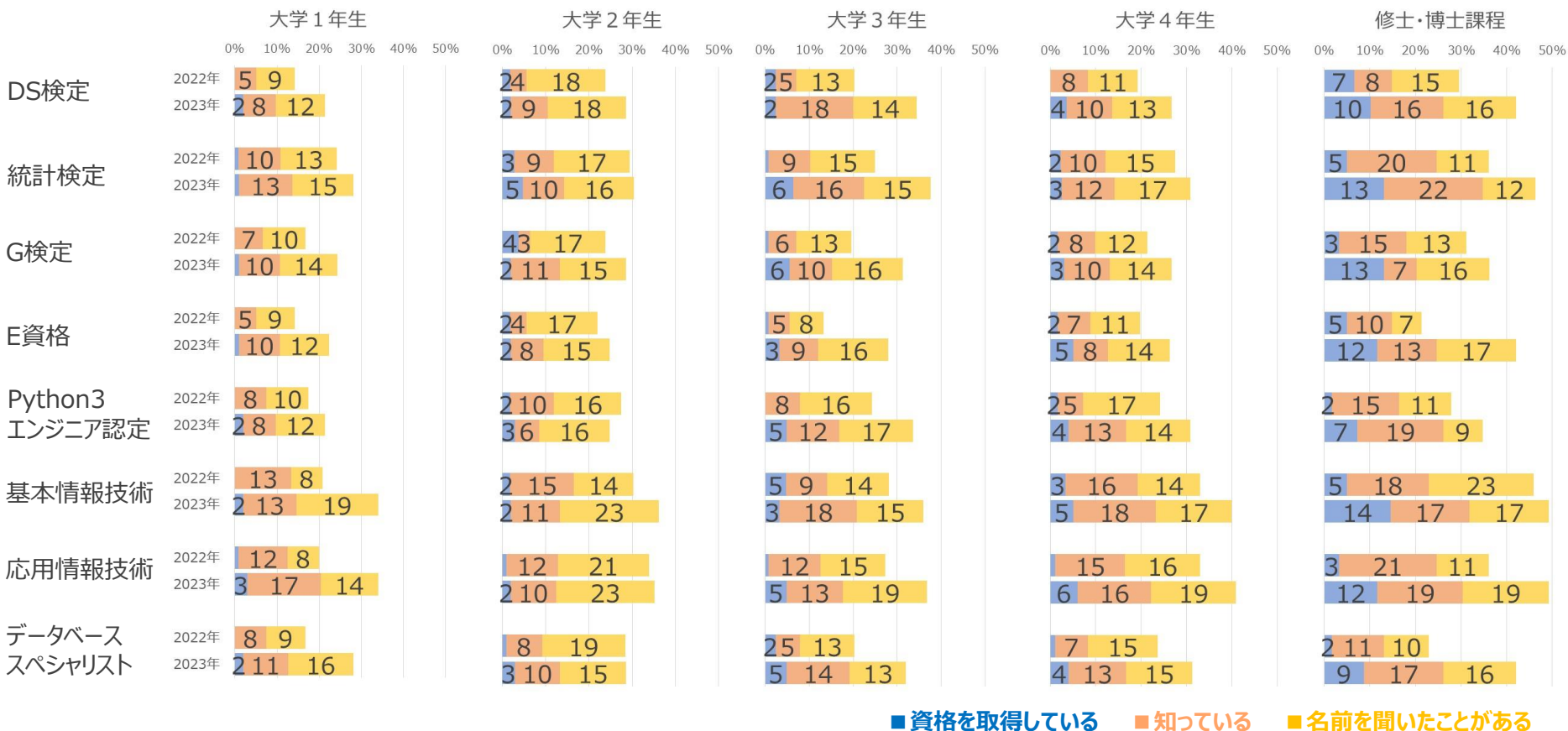
学生全体

n=600

【学年】資格取得／認知度

Q.あなたは、データサイエンスに関する以下の「資格」を知っていますか。また、取得しているものがありますか。

修士・博士課程での資格取得率が向上 DS検定はどの学年でも認知度が向上

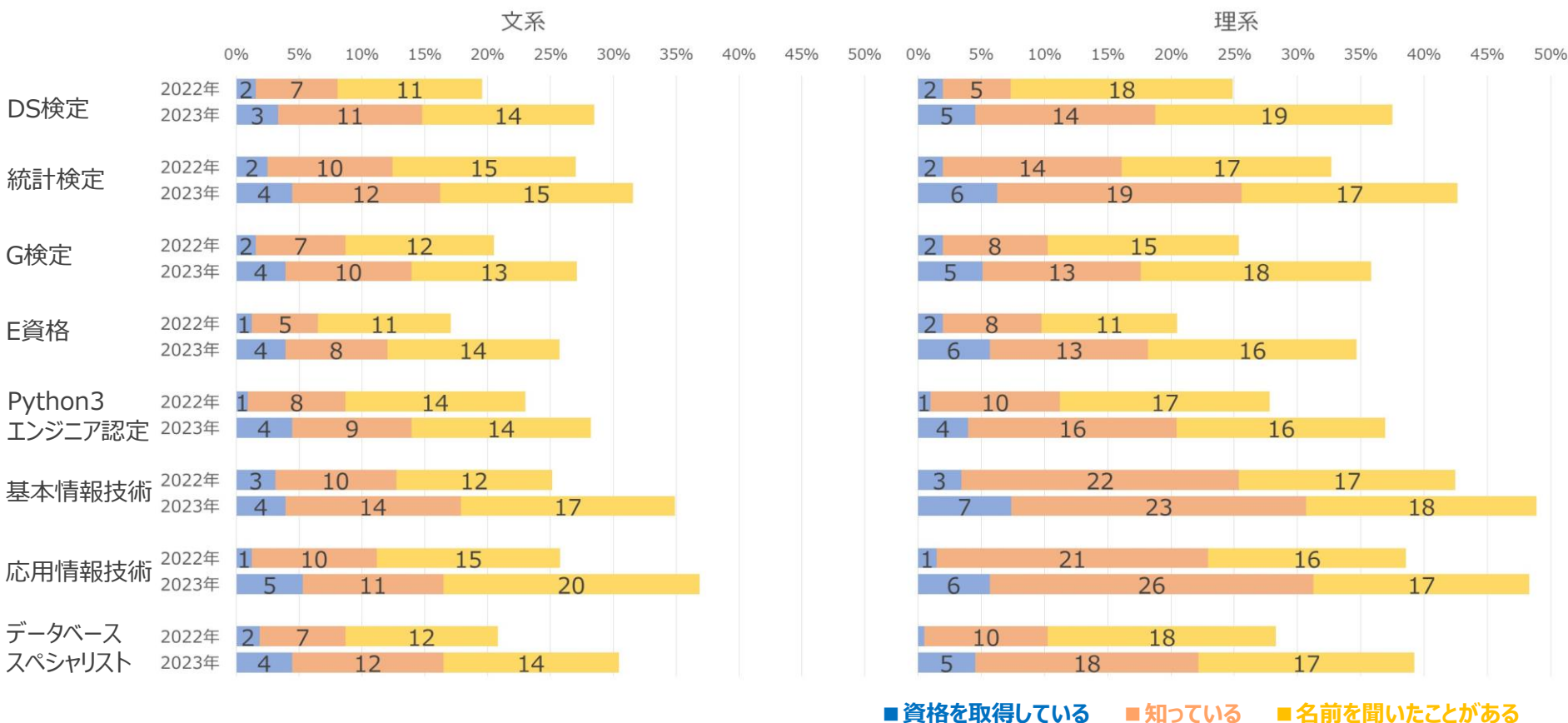


■ 資格を取得している ■ 知っている ■ 名前を聞いたことがある

【文系理系】資格取得／認知度

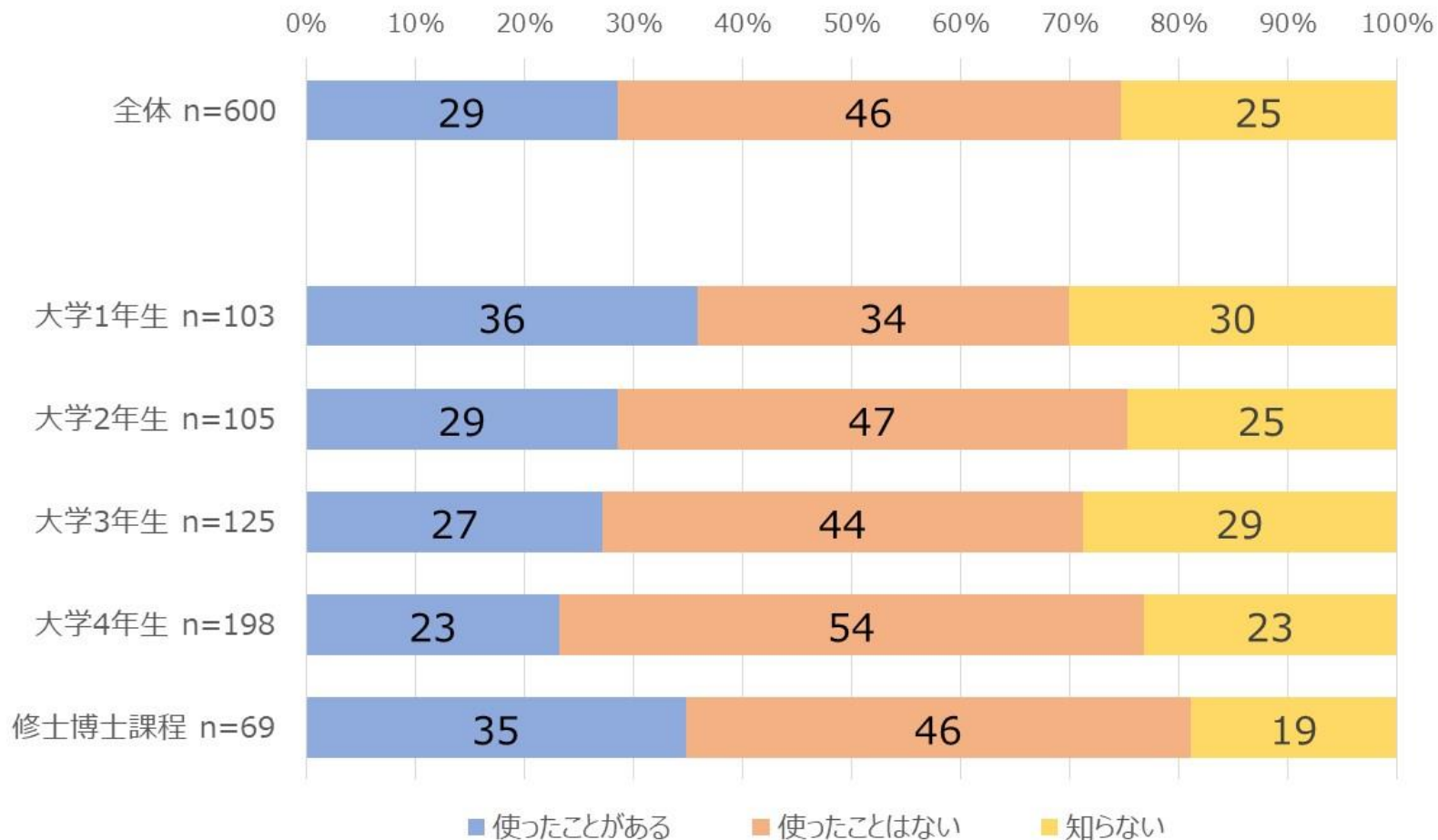
Q.あなたは、データサイエンスに関する以下の「資格」を知っていますか。また、取得しているものがありますか。

理系のほうが、どの資格も取得率・認知度が高い



Q.あなたは、これまでに「生成AI」のツール・アプリ・ソフトなどを使ったことがありますか。

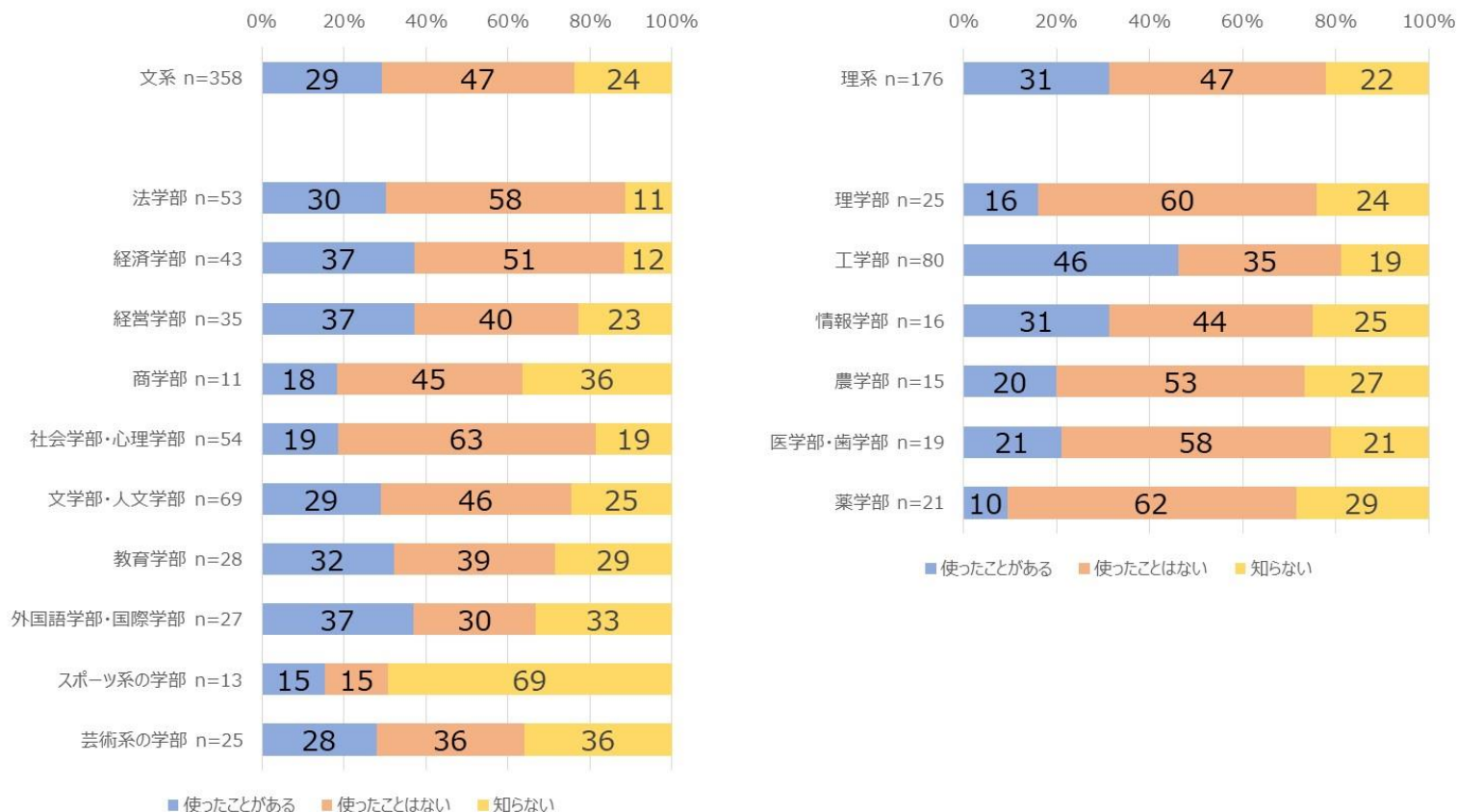
生成AIの利用率は学生全体で29%



【文系理系】生成A I の利用・認知

Q.あなたは、これまでに「生成A I」のツール・アプリ・ソフトなどを使ったことがありますか。

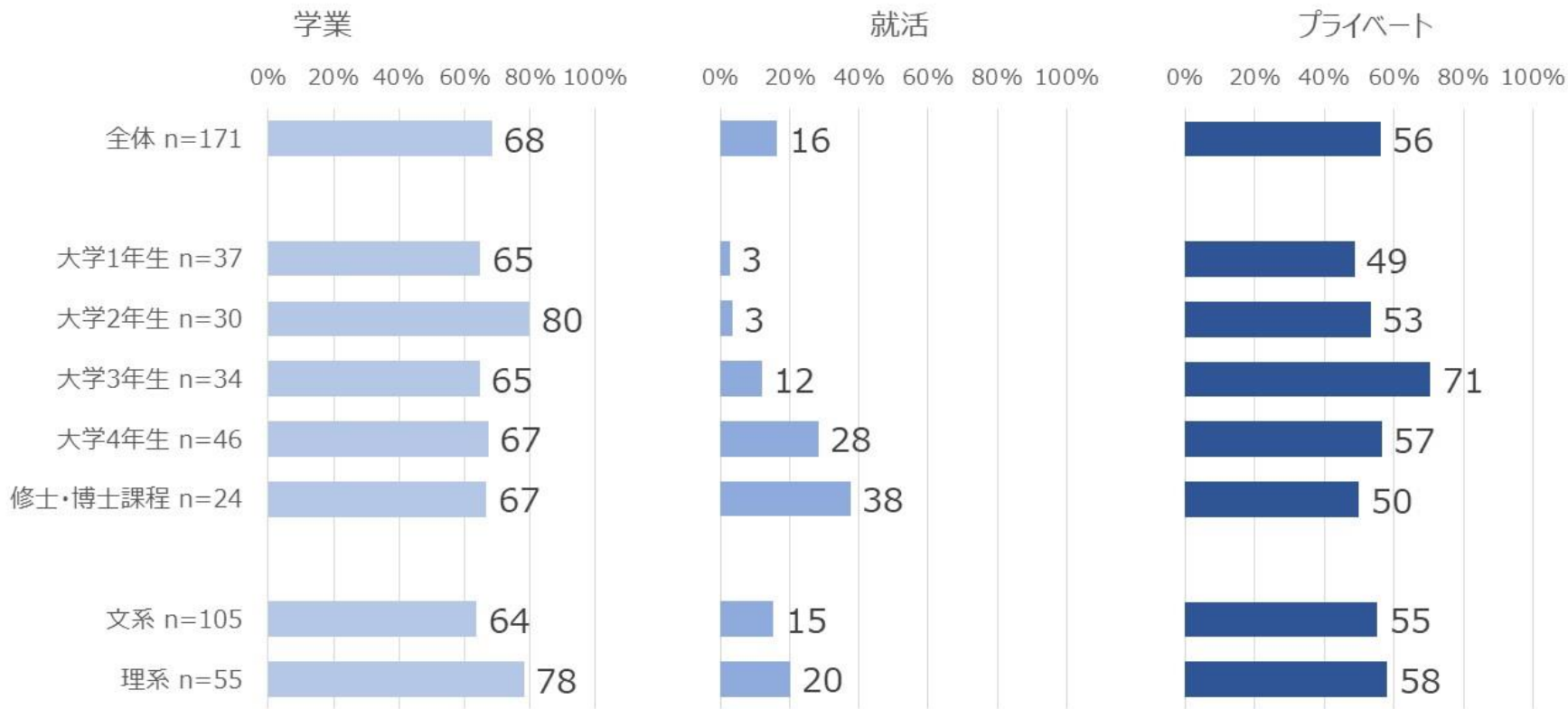
文系・理系で利用・認知度に大きな違いは見られない 学部によって利用・認知度にバラツキが見られる



生成AIの活用シーン

Q. 「生成AI」をどのようなシーンで使ったことがありますか。(MA)

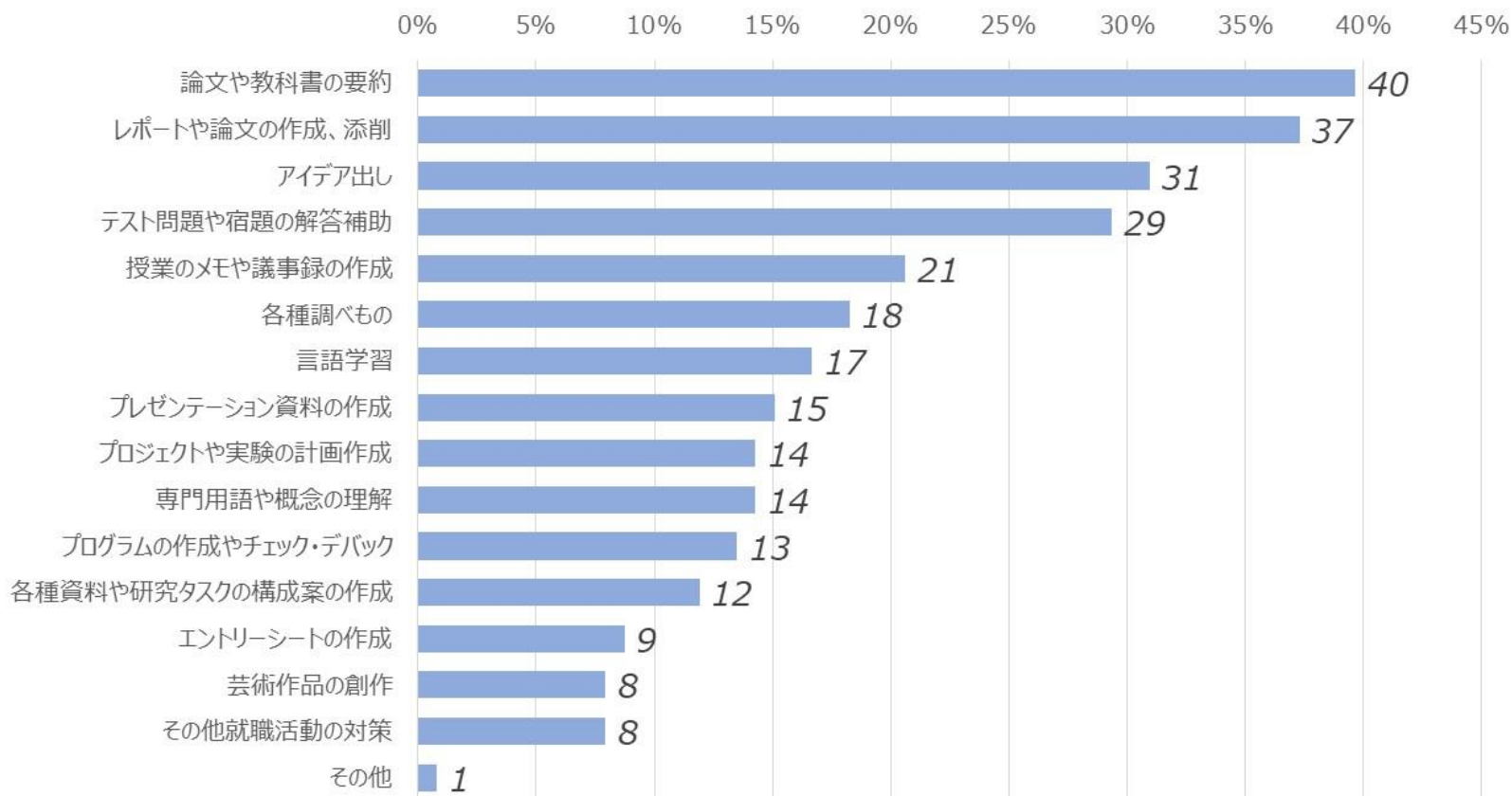
学業では理系のほうが高いが プライベートでは文系理系で差はない



生成AIの活用シーン（詳細）

Q.学業や就職活動において、どのように「生成AI」を使ったことがありますか。（MA）

活用シーンの上位 「論文の要約」「レポート作成・添削」



生成AI-学業・就活利用先

n=126

【学年・文系理系】生成AIの活用シーン（詳細）

Q.学業や就職活動において、どのように「生成AI」を使っていますか。（MA）

理系でやや「論文要約」「レポート作成」が高いが その他は文系理系で活用差は見られない

	回答数	論文や教科書の要約	レポートや論文の作成、添削	アイデア出し	テスト問題や宿題の解答補助	授業のメモや議事録の作成	各種調べもの	言語学習	プレゼンテーション資料の作成	プロジェクトや実験の計画作成	専門用語や概念の理解	プログラムの作成やデバッグ	構成資料や研究タスクの作成	エントリースートの作成	芸術作品の創作	その他就職活動の対策	その他
全体	126	40%	37%	31%	29%	21%	18%	17%	15%	14%	14%	14%	12%	9%	8%	8%	1%
大学1年生	25	28%	32%	28%	28%	8%	16%	4%	8%	4%	16%	0%	8%	4%	4%	4%	0%
大学2年生	25	52%	40%	36%	40%	20%	24%	16%	20%	16%	8%	12%	8%	4%	12%	4%	0%
大学3年生	23	35%	30%	26%	26%	26%	17%	43%	22%	26%	22%	17%	26%	4%	9%	4%	0%
大学4年生	34	32%	38%	35%	24%	24%	18%	15%	15%	15%	15%	24%	9%	18%	12%	18%	0%
修士博士課程	19	58%	47%	26%	32%	26%	16%	5%	11%	11%	11%	11%	11%	11%	0%	5%	5%

文系	74	36%	36%	30%	30%	20%	19%	18%	16%	16%	14%	11%	12%	8%	9%	11%	0%
理系	45	44%	40%	31%	29%	24%	18%	16%	13%	13%	13%	18%	13%	11%	7%	4%	0%

生成AI-学業・就活利用先

データサイエンティストの認知度は向上している

- 認知度の上昇傾向は続いており、**認知度は62%**（前回58%）となった
- 「確かに知っている」学生が増えており、全体の認知度を押し上げている
- 文系学生と理系学生で認知度の差は10ポイント（文系：61%、理系：70%）あるが、いずれも認知度は上昇傾向にある
- 認知経路として「テレビ」「ネット」が依存として高いが、「大学の先生」「大学主催の会社説明会」「大学の学部名」といった大学関連からの認知も高まりつつある

文系と理系学生でデータサイエンティストに就職してみたい理由で違いが見られる

- DSのイメージとして「専門性が高い」「頭がよい」がいずれも30%台と高いが、理系学生の方がそのイメージは強い
- DSに就職してみたい理由としては「おもしろそうだから」「将来性があるから」がいずれも30%程度と高い
- 文系と理系学生の違いとしては、文系学生は「将来性」「ネットやメディアで話題」が、理系学生は「自分の能力を活かせる」が高くなっており、文系学生はまだイメージ先行の部分が窺える

文系学生もデータサイエンス関連科目への興味の傾向が窺える

- 数学・DS関連科目の受講割合は、**統計学32%から機械学習10%と差**がある
- その一方で、興味割合はどの科目も20%程度と変わらない
- **理系学生は**受講割合が60%に迫る科目（微積分57%）もあり、興味割合を加えると多くの科目で**60~70%の受講 + 興味割合**となる
- **文系学生はDS関連授業の受講 + 興味割合が40%**と、理系学生には及ばないものの、認知度も上昇傾向にあり、これから学びある学生が増加するとも想定される
- なお、経済学部学生はその割合が70%近くと、理系学生と同程度に高い

生成AIの活用は30%、論文要約やレポート作成・添削での利用が多い

- 学生の**生成AIの活用は30%程度**である一方、知らない学生は25%である
- 文系理系学生で活用状況に大きな違いは見られない
- 学業での活用シーンは**「論文や教科書の要約」「レポートや論文の作成、添削」がいずれも40%程度**、次いで「アイデア出し」「テスト問題や宿題の解答補助」が30%程度となっている